

安城市一般廃棄物処理基本計画（資料編）

平成 20～29 年度

（2008～2017）

後期計画（平成 25～29 年度）

安城市

資料編目次

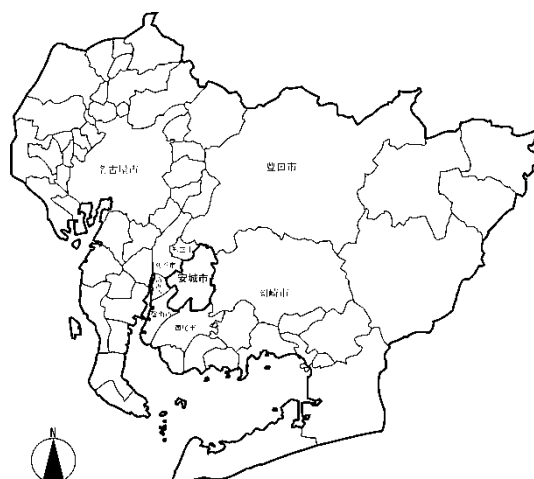
●地域の概要	1
●ごみ量の予測	6
1. 人口予測	6
2. 現状予測	7
3. 目標予測	9
●意識調査結果の概要	13
1. 調査の概要	13
2. 調査の結果	14
（1）市民	14
（2）事業者	53

●地域の概要

1.位置・地勢

本市は、愛知県及び西三河平野の中央部に位置し、平坦で地形的変化は少なく、水田などの農地と市街地が広がっています。面積は 86.01km² であり、北は豊田市、東は岡崎市、南は西尾市、西は知立市、刈谷市、高浜市、碧南市と接しています。

本市の地形は、おもに沖積面と中位段丘を形成する碧海面に区分され、最高標点が 27.7m、最低標点が 0.7m と平坦です。安城市の表層地質のほとんどは泥、砂及び礫です。



資料：「新編 安城市史 11 資料編 自然」
(平成 17 年 6 月 安城市)

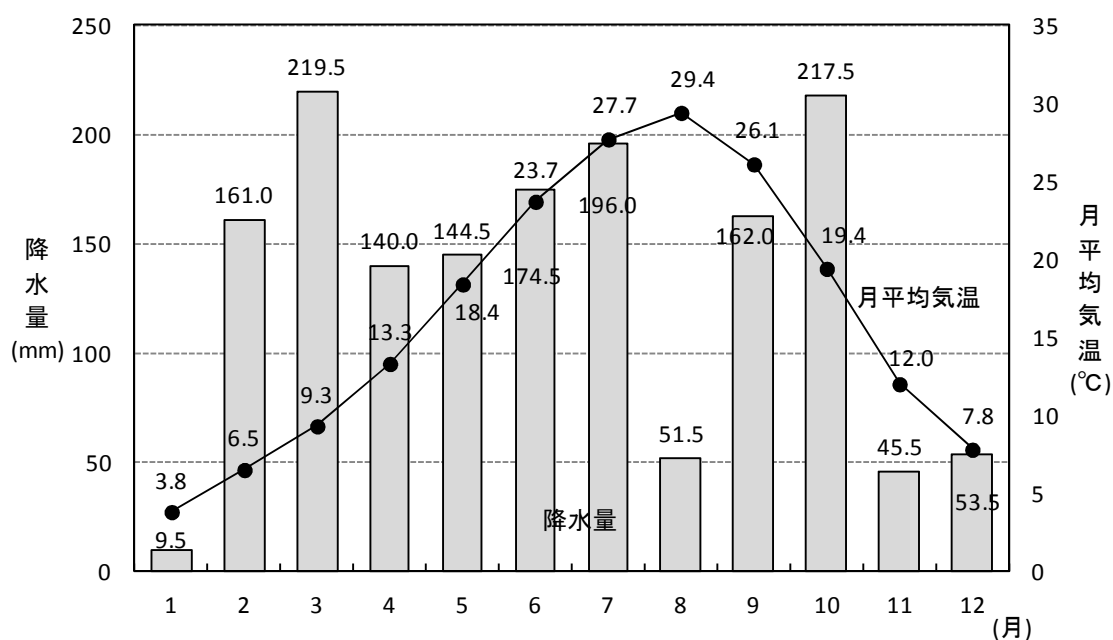
図 1.1 安城市の位置

2.気候

本市の気候区は、太平洋側の気候区の東海地方に属し、比較的温暖な典型的な東海式の気候地域と考えられます。ただし、夏期には北太平洋高気圧の張り出しに伴う暖湿流が濃尾平野に流入するため高温で蒸し暑くなるだけでなく、南西の風が西側山地を越えて吹くフェーン現象によって異常高温が現れることも多い地域です。

2010 年の月平均気温の最高は 8 月の 29.4℃、最低は 1 月の 3.8℃です。降水量の最高は 3 月の 219.5mm、最低は 1 月の 9.5mm です。

資料：「新編 安城市史 11 資料編 自然」(平成 17 年度 6 月 安城市)

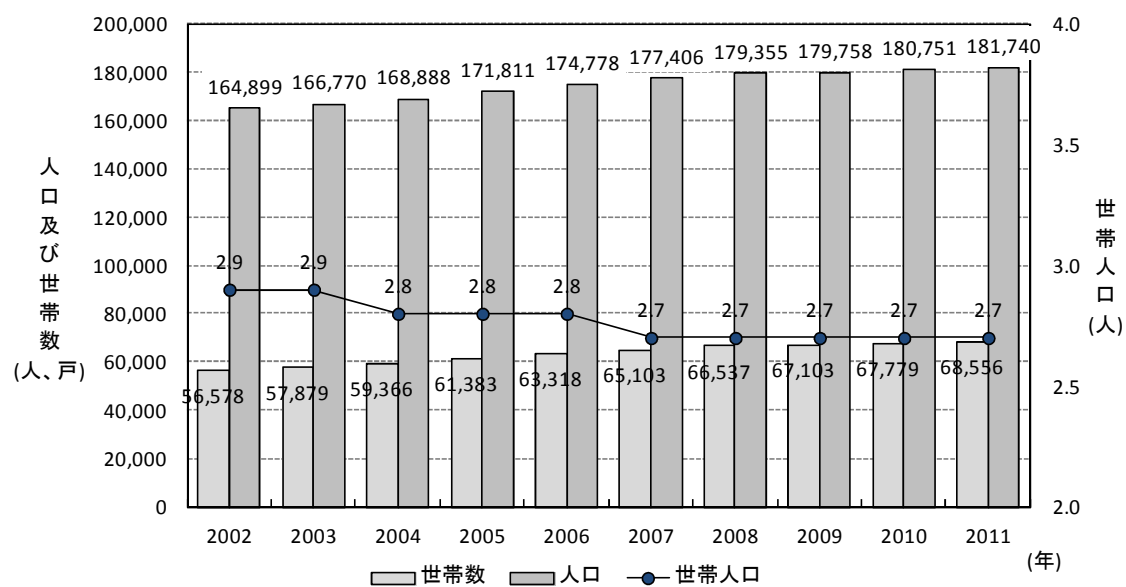


資料：「『11 安城の統計 48』(2011 年 12 月 安城市)

図 1.2 2010 年の気温と降水量

3.人口

本市の人口は増加傾向が続いており、2011 年 10 月 1 日現在で 181,740 人となっています。



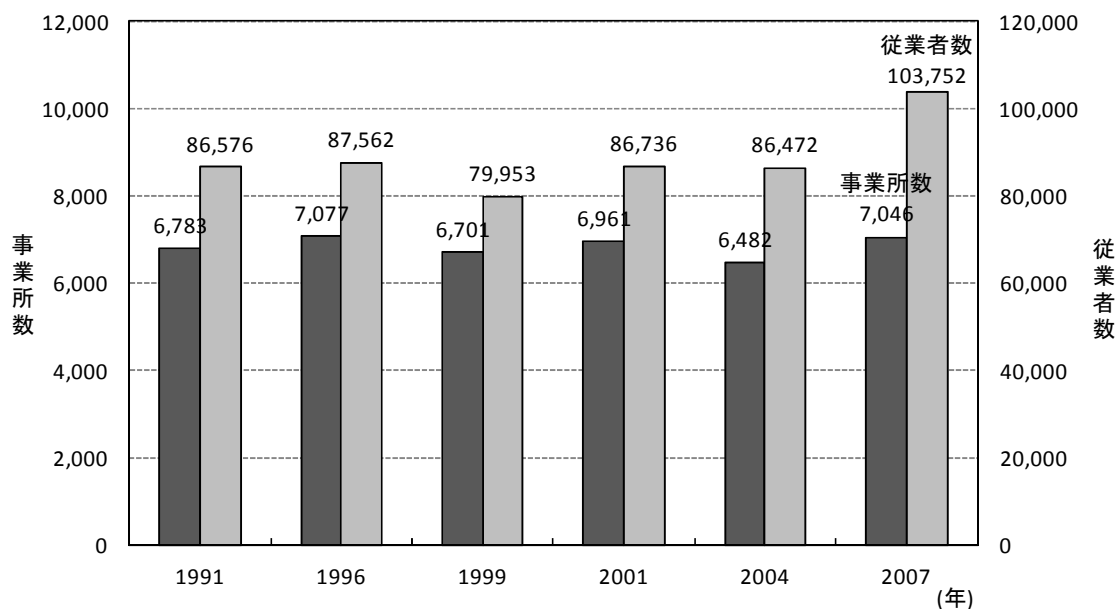
資料：「11 安城の統計 48」（2011 年 12 月 安城市）

図 1.3 人口と世帯数の推移

4.産業構造の推移

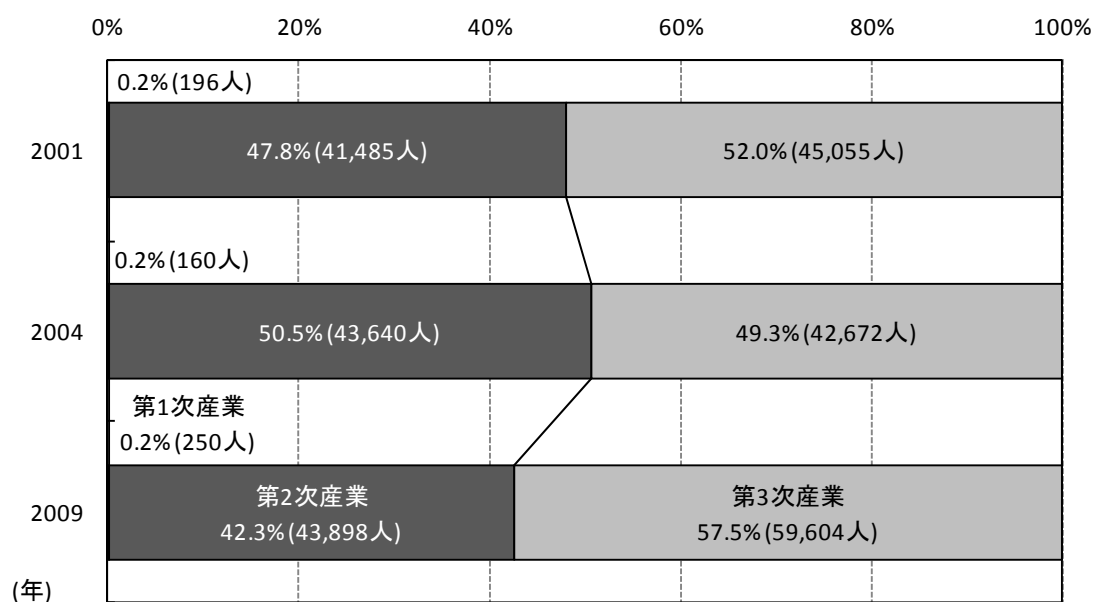
事業所数と従業者数は、増減を繰り返しながら推移し、2007 年には 7,046 箇所、103,752 人となっています。

産業別従業者数は、第 1 次産業の割合が 0.2%と少なく、第 3 次産業が半数を超えています。



資料：「11 安城の統計 48」（2011 年 12 月 安城市）

図 1.4 事業所数及び従業員数の推移

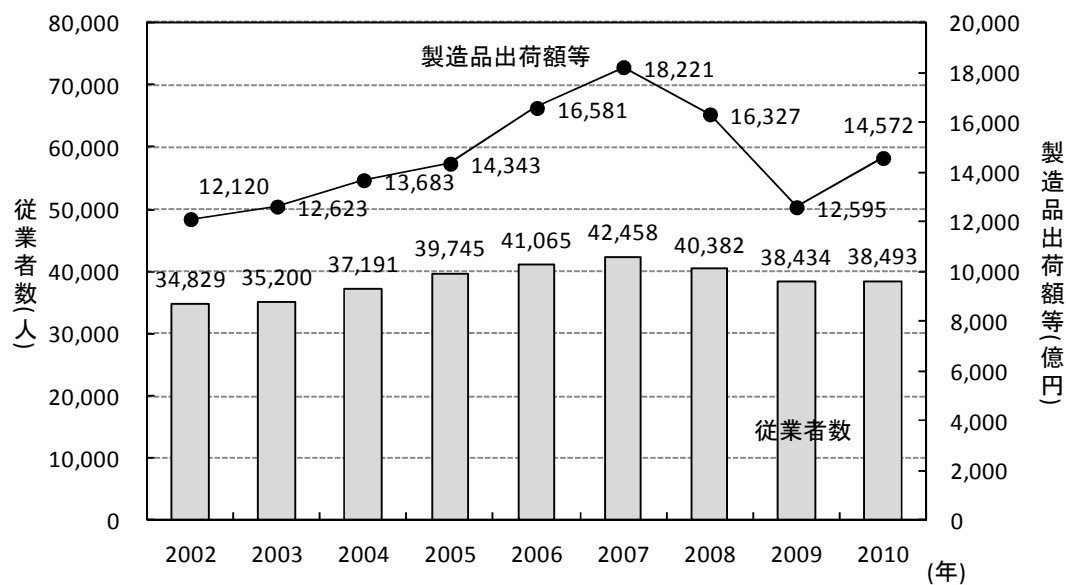


資料：「11 安城の統計 48」（2011 年 12 月 安城市）

図 1.5 産業別従業者数の推移

5.工業

工業は、2010 年で従業者数 38,493 人、製造品出荷額等は 14,572 億円となっています。

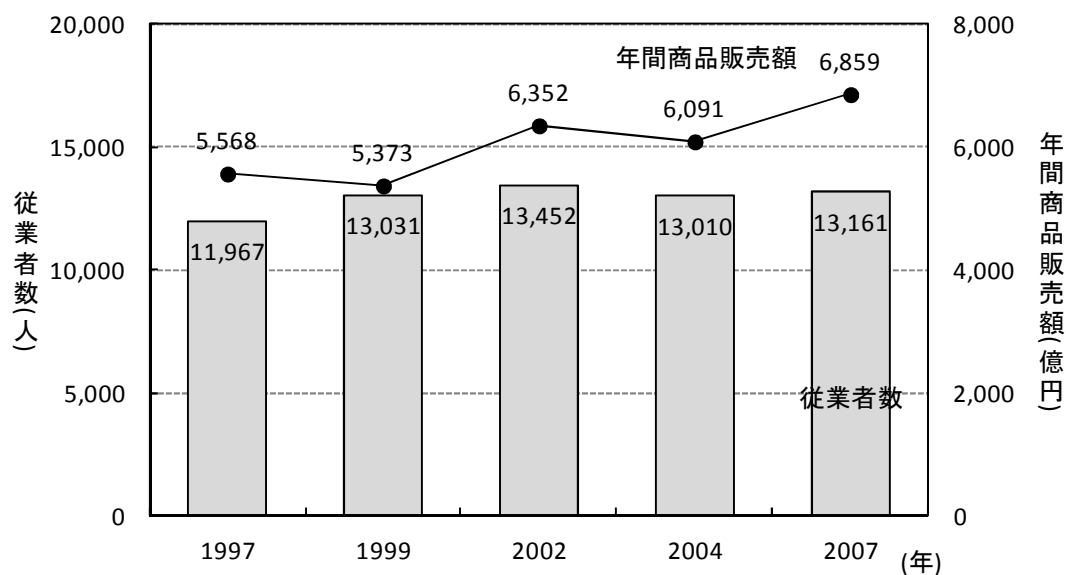


資料：「11 安城の統計 48」（2011 年 12 月 安城市）

図 1.6 工業の推移

6.商業

商業は、2007 年で従業者数 13,161 人、年間商品販売額は 6,859 億円となっています。

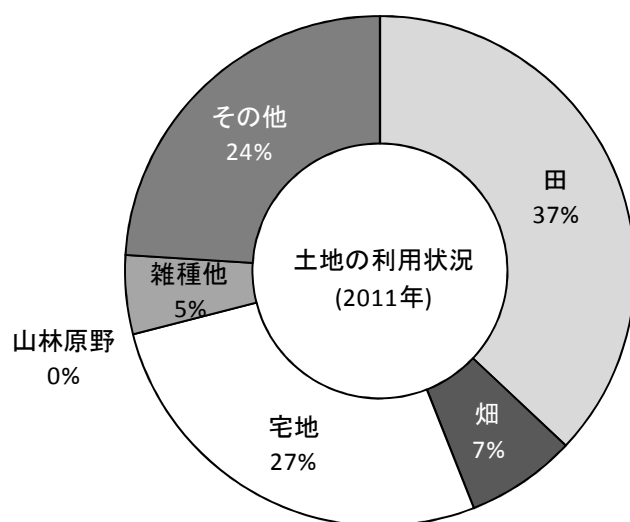


資料：「11 安城の統計 48」（2011 年 12 月 安城市）

図 1.7 商業の推移

7.土地利用

本市の土地利用は、田が最も多く 37%、次いで宅地が 27%、畑 7%となっています。



資料：「11 安城の統計 48」（2011 年 12 月 安城市）

図 1.8 地目別土地利用状況

●ごみ量の予測

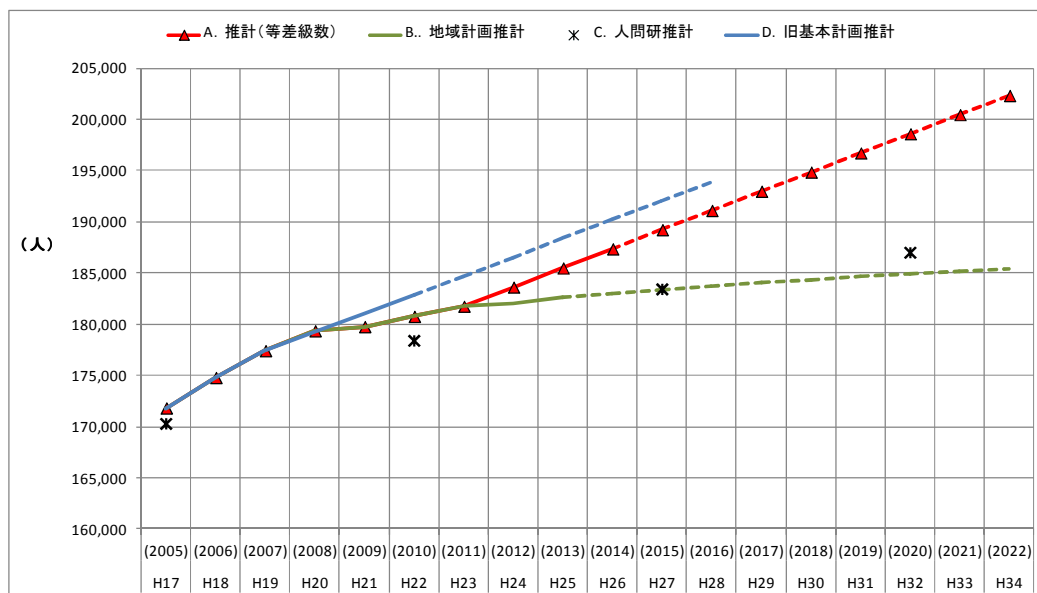
ごみ量の推計は、将来の予測される人口に収集ごみ等の原単位（1 人 1 日当たりのごみ量）を乗じて求めます。

1. 人口予測

前期計画では、人口は過去の実績の伸び率と同様に今後も伸びていくと予測しましたが、平成 21 年度以降伸び率が鈍化しているため、平成 23 年度に循環型社会形成推進地域計画策定時の予測を基準に推計します。

後期計画で用いる実績及び推計人口

年度	実績人口 (人)	年度	推計人口 (人)
H17	171,811	H24	182,069
H18	174,778	H25	182,563
H19	177,406	H26	182,999
H20	179,355	H27	183,389
H21	179,758	H28	183,742
H22	180,751	H29	184,064
H23	181,740	H30	184,361
		H31	184,635
		H32	184,890
		H33	185,129
		H34	185,354



- ※ A推計：前期計画と同様に過去の実績の伸び率で推計した場合。
 B推計(採用)：循環型社会形成推進地域計画の推計をH34 まで伸ばした結果。
 C推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計人口。
 D推計：前期計画の推計人口。

2. 現状予測

現状の分別区分や処理・処分方法など、ごみ処理システムに変化がないと仮定した場合のごみ量を、平成 23（2011）年度の 1 人 1 日当たりのごみ排出量（原単位）に各年度の推測人口を乗じて単純予測します。

$$\text{※ごみ排出量 (t)} = 1 \text{ 人 1 日当たりごみ排出量 (g/人・日)} \times \text{人口 (人)} \times 365 \text{ (日)} \div 10^6$$

平成 23（2011）年度の原単位とごみ排出量

	記号	搬入方法等	処理・処分先	平成23年度実績 (2011)	
人口				181,740 人	
				g/人・日	t/年
家庭系ごみ	1	Σ 2~5	-	642.32	42,725
可燃ごみ	2	ごみステーション・直接搬入	クリーンセンター	448.91	29,860
不燃ごみ	3	ごみステーション・直接搬入	リサイクルプラザ*	15.76	1,048
粗大ごみ	4	搬入・有料回収	リサイクルプラザ*	31.00	2,062
資源ごみ	5	Σ 6~18	-	146.65	9,755
缶	6	ごみステーション	リサイクルプラザ*	6.09	405
びん	7	ごみステーション	リサイクルプラザ*	17.59	1,170
ペットボトル	8	拠点回収	資源化センター他	6.04	402
新聞	9	ごみステーション+リサイクルステーション	※直接資源化	31.01	2,063
雑誌・雑がみ	10	ごみステーション+リサイクルステーション	※直接資源化	37.27	2,479
ダンボール	11	ごみステーション+リサイクルステーション	※直接資源化	14.34	954
牛乳パック	12	ごみステーション+リサイクルステーション	※直接資源化	0.24	16
古着・布類	13	ごみステーション+リサイクルステーション	※直接資源化	6.24	415
プラ製容器包装	14	ごみステーション	プラリサイクルセンター	19.35	1,287
廃乾電池	15	拠点回収	※直接資源化	0.87	58
廃蛍光灯	16	拠点回収	※直接資源化	0.36	24
せん定枝	17	直接搬入	せん定枝リサイクルプラント	7.25	482
小型家電	18	リサイクルステーション等拠点回収	※直接資源化	-	-
事業系ごみ	19	Σ 20~24	-	246.81	16,417
可燃ごみ	20	直接搬入	クリーンセンター	192.46	12,802
可燃ごみ(公共施設、減免、し尿汚泥)	21	直接搬入	クリーンセンター	25.39	1,689
不燃ごみ	22		リサイクルプラザ*	0.41	27
粗大ごみ	23		リサイクルプラザ*	2.83	188
資源ごみ	24	Σ 25~28	-	25.72	1,711
びん	25	直接搬入	リサイクルプラザ*	0.09	6
缶	26	直接搬入	リサイクルプラザ*	0.03	2
せん定枝	27		せん定枝リサイクルプラント	25.60	1,703
その他(残土等)	28	直接搬入	※直接資源化	0.00	0
ごみ排出量(家庭系ごみ+事業系ごみ)	29	1+19		889.13	59,142
集団回収	30	Σ 31~35		64.02	4,247
びん	31	集団回収	-	0.06	4
くず鉄	32	集団回収	-	0.39	26
古紙	33	集団回収	-	62.36	4,137
布類	34	集団回収	-	1.21	80
ペットボトル	35	集団回収	-	0.00	0
ごみ発生量	36	29+30	-	953.15	63,389
原単位					
1人1日当たり家庭系ごみ排出量(資源ごみ除く)		(1-5)/人口/366*10^6		496	-
1人1日当たり事業系ごみ排出量(資源ごみ除く)		(19-24)/人口/366*10^6		221	-
1人1日当たり資源ごみ排出量(家庭系+事業系)※		(5+24)/人口/366*10^6		172	-
1人1日当たりごみ排出量(集団資源回収を除く)		29/人口/366*10^6		889	-
1人1日当たりごみ発生量		36/人口/366*10^6		953	-

※ 集団資源回収を除く。

ごみ排出量の現状予測結果

	単位	実績							現状予測										
		H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
人口	人	171,811	174,778	177,406	179,355	179,758	180,751	181,740	182,069	182,563	182,999	183,389	183,742	184,064	184,361	184,635	184,890	185,129	185,354
家庭系ごみ	g／人・日	590	575	572	536	510	489	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496
1人1日当 たりのご み排出量	事業系ごみ g／人・日	314	307	263	243	227	223	221	221	221	221	221	221	221	221	221	221	221	221
	資源ごみ g／人・日	134	140	146	168	175	176	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
	合計 g／人・日	1,038	1,022	981	947	912	888	889	889	889	889	889	889	889	889	889	889	889	889
1人1日当たり集団回収量	g／人・日	88	85	82	80	70	70	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
1人1日当たりのごみ発生量	g／人・日	1,126	1,107	1,063	1,027	982	958	953	953	953	953	953	953	953	953	953	953	953	953
家庭系ごみ	t／年	36,984	36,695	37,126	35,079	33,451	32,255	32,970	32,962	33,051	33,130	33,201	33,265	33,323	33,377	33,426	33,472	33,516	33,556
ごみ排出 量	事業系ごみ t／年	19,713	19,561	17,084	15,936	14,918	14,713	14,706	14,687	14,726	14,762	14,793	14,822	14,848	14,871	14,894	14,914	14,933	14,952
	資源ごみ t／年	8,384	8,961	9,470	10,967	11,496	11,629	11,466	11,430	11,461	11,489	11,513	11,535	11,556	11,574	11,591	11,607	11,622	11,637
	合計 t／年	65,081	65,217	63,680	61,982	59,865	58,597	59,142	59,079	59,238	59,381	59,507	59,622	59,727	59,822	59,911	59,993	60,071	60,145
集団回収量	t／年	5,547	5,400	5,303	5,221	4,599	4,650	4,247	4,253	4,265	4,275	4,284	4,292	4,300	4,307	4,313	4,319	4,325	4,330
ごみ発生量	t／年	70,628	70,617	68,983	67,203	64,464	63,247	63,389	63,332	63,503	63,656	63,791	63,914	64,027	64,129	64,224	64,312	64,396	64,475

3. 目標予測

設定した数値目標を達成した場合のごみ発生量を予測し、それに伴う処理・処分量からリサイクル率、最終処分率を推計します。

なお、排出量の目標は家庭系ごみと事業系ごみ（公共草を除く）の合計で設定していますが、目標予測では目安として家庭系ごみと事業系ごみ（公共草を含む）に分けて算出しています。

ごみ減量の目標予測

	単位	実績							目標										
		H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
人口	人	171,811	180,751	180,751	180,751	180,751	180,751	181,740	182,069	182,563	182,999	183,389	183,742	184,064	184,361	184,635	184,890	185,129	185,354
1人1日当 たりのご み排出量	家庭系ごみ	g／人・日	590	556	561	532	507	489	496	486	476	466	457	448	441	441	441	441	441
	事業系ごみ	g／人・日	314	296	258	242	226	223	221	214	210	206	202	198	195	195	195	195	195
	資源ごみ	g／人・日	134	136	143	166	174	176	172	177	179	181	183	184	186	186	186	186	186
	合計	g／人・日	1,038	988	962	940	907	888	889	877	865	853	842	830	822	822	822	822	822
1人1日当たり集団回収量	g／人・日	88	85	82	80	70	70	64	65	66	67	67	68	68	68	68	68	68	68
1人1日当たりのごみ発生量	g／人・日	1,126	1,107	1,062	1,027	983	959	953	942	931	920	909	898	890	890	890	890	890	890
ごみ排出 量	家庭系ごみ	t／年	36,984	36,695	37,126	35,079	33,451	32,255	32,970	32,297	31,719	31,126	30,591	30,045	29,628	29,676	29,719	29,760	29,799
	事業系ごみ	t／年	19,713	19,561	17,084	15,936	14,918	14,713	14,706	14,221	13,993	13,759	13,521	13,279	13,101	13,121	13,141	13,159	13,176
	資源ごみ	t／年	8,384	8,961	9,470	10,967	11,496	11,629	11,466	11,745	11,925	12,099	12,223	12,344	12,464	12,483	12,505	12,519	12,538
	合計	t／年	65,081	65,217	63,680	61,982	59,865	58,597	59,142	58,263	57,637	56,984	56,335	55,668	55,193	55,280	55,365	55,438	55,513
集団回収量	t／年	5,547	5,400	5,303	5,221	4,599	4,650	4,247	4,336	4,402	4,466	4,512	4,557	4,601	4,608	4,615	4,621	4,627	4,633
ごみ発生量	t／年	70,628	70,617	68,983	67,203	64,464	63,247	63,389	62,599	62,039	61,450	60,847	60,225	59,794	59,888	59,980	60,059	60,140	60,214
資源化量	集団資源回収(再掲)	t／年	5,547	5,400	5,303	5,221	4,599	4,650	4,247	4,336	4,402	4,466	4,512	4,557	4,601	4,608	4,615	4,621	4,627
	直接資源化量	t／年	2,614	3,163	3,692	5,082	5,666	5,923	6,009	6,200	6,295	6,389	6,456	6,522	6,588	6,598	6,610	6,618	6,628
	中間処理後の 資源化量 (うち溶融スラグ量)	t／年	7,702 (1,715)	8,540 (3,002)	9,522 (4,030)	7,566 (2,328)	7,479 (2,394)	6,346 (1,421)	5,912 (1,008)	5,877 (1,000)	5,886 (1,000)	5,891 (1,000)	5,890 (1,000)	5,890 (1,000)	5,891 (1,000)	5,899 (1,000)	5,904 (1,000)	5,910 (1,000)	5,915 (1,000)
	合計	t／年	15,863	17,103	18,517	17,869	17,744	16,919	16,168	16,413	16,583	16,746	16,858	16,969	17,080	17,105	17,129	17,149	17,170
	リサイクル率	%	22.5	24.2	26.8	26.6	27.5	26.8	25.5	26.2	26.7	27.3	27.7	28.2	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6
	リサイクル率(溶融スラグ量を除く)	%	(20.0)	(20.0)	(21.0)	(23.1)	(23.8)	(24.5)	(23.9)	(24.6)	(25.1)	(25.6)	(26.1)	(26.5)	(26.9)	(26.9)	(26.9)	(26.9)	(26.9)
最終処分 量	直接埋立	t／年	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼却灰	t／年	4,934	5,751	3,463	2,748	2,922	4,077	4,868	4,766	4,693	4,618	4,547	4,474	4,420	4,427	4,434	4,440	4,446
	(全量処分の場合)		(8,370)	(8,753)	(7,493)	(6,770)	(6,420)	(6,122)	(6,377)	(6,266)	(6,193)	(6,118)	(6,047)	(5,974)	(5,920)	(5,927)	(5,934)	(5,940)	(5,946)
	不燃残さ	t／年	1,082	1,062	1,205	1,258	901	650	678	668	662	657	652	646	642	643	644	645	646
	合計	t／年	6,210	6,813	4,668	4,006	3,823	4,727	5,546	5,434	5,355	5,275	5,199	5,120	5,062	5,070	5,078	5,085	5,092
最終処分率 (最終処分率(溶融処理なし))	%	9.5	10.4	7.3	6.5	6.4	8.1	9.4	9.3	9.3	9.3	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2
	%	(14.8)	(15.0)	(13.7)	(13.0)	(12.2)	(11.6)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)	(11.9)

※ 本表の事業系ごみは、公共草等の量を含んでいます。平成24年度以降は、平成23年度実績（1,689 t／年）と同量の発生を見込んでいます。

【参考】数値目標の試算

	記号	集計方法等	単位	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	34年度 (2022)	予測値算出方法
人口			人	171,811	174,778	177,406	179,355	179,758	180,751	181,740	182,069	182,563	182,999	183,389	183,742	184,064	184,361	184,635	184,890	185,129	185,354	地域計画予測人口
家庭系ごみ	1	Σ2～5	t/年	65,081	43,879	44,955	44,302	43,184	42,056	42,725	42,290	41,865	41,419	40,990	40,547	40,232	40,296	40,358	40,411	40,466	40,516	
可燃ごみ	2		t/年	52,954	33,351	33,989	31,920	30,384	29,273	29,860	29,252	28,729	28,191	27,707	27,213	26,835	26,878	26,918	26,955	26,990	27,023	原単位×予測人口
不燃ごみ	3		t/年		1,142	1,066	1,095	1,046	1,019	1,048	1,026	1,008	989	972	954	941	943	944	945	947	948	原単位×予測人口
粗大ごみ	4		t/年	3,743	2,202	2,071	2,064	2,021	1,963	2,062	2,019	1,982	1,946	1,912	1,878	1,852	1,855	1,857	1,860	1,862	1,865	原単位×予測人口
資源ごみ	5	Σ6～18	t/年	8,384	7,184	7,829	9,223	9,733	9,801	9,755	9,993	10,146	10,293	10,399	10,502	10,604	10,620	10,639	10,651	10,667	10,680	
缶	6		t/年		430	377	351	348	331	405	371	375	379	382	383	384	384	385	385	386	386	原単位×予測人口
びん	7		t/年		1,528	1,459	1,460	1,398	1,280	1,170	1,199	1,217	1,234	1,247	1,259	1,272	1,274	1,276	1,277	1,279	1,281	原単位×予測人口
ペットボトル	8		t/年		389	549	480	504	435	402	411	418	424	428	433	437	437	438	439	439	440	原単位×予測人口
新聞	9	※直接資源化	t/年		1,300	1,455	1,853	1,948	2,047	2,063	2,113	2,145	2,177	2,199	2,221	2,243	2,246	2,250	2,253	2,256	2,258	原単位×予測人口
雑誌・雑がみ	10	※直接資源化	t/年		1,037	1,233	2,035	2,383	2,474	2,479	2,540	2,578	2,616	2,643	2,669	2,695	2,699	2,703	2,707	2,710	2,714	原単位×予測人口
ダンボール	11	※直接資源化	t/年		561	662	836	903	939	954	977	992	1,007	1,017	1,027	1,037	1,038	1,040	1,041	1,043	1,044	原単位×予測人口
牛乳パック	12	※直接資源化	t/年		8	8	16	17	18	16	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	原単位×予測人口
古着・布類	13	※直接資源化	t/年		175	248	265	342	372	415	425	432	438	442	447	451	452	453	453	454	455	原単位×予測人口
プラ製容器包装	14		t/年		1,261	1,316	1,338	1,289	1,311	1,287	1,318	1,339	1,358	1,372	1,386	1,399	1,402	1,404	1,406	1,408	1,409	原単位×予測人口
廃乾電池	15	※直接資源化	t/年		55	57	49	49	49	58	59	60	61	62	62	63	63	63	63	64	64	原単位×予測人口
廃蛍光管	16	※直接資源化	t/年		27	29	28	24	24	24	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	原単位×予測人口
せん定枝	17		t/年		413	436	512	528	521	482	494	502	509	514	519	524	525	526	526	527	528	原単位×予測人口
小型家電	18	※直接資源化	t/年	-	-	-	-	-	-	-	44	46	48	51	54	56	57	57	57	57	57	原単位×予測人口
事業系ごみ	19	Σ20～24	t/年		21,338	18,725	17,680	16,681	16,541	16,417	15,973	15,772	15,565	15,345	15,121	14,961	14,984	15,007	15,027	15,047	15,065	
可燃ごみ	20		t/年		17,670	15,188	14,124	13,034	12,842	12,802	12,323	12,099	11,869	11,634	11,395	11,220	11,240	11,260	11,277	11,294	11,310	原単位×予測人口
可燃ごみ(公共草等)	21	※	t/年		1,572	1,581	1,519	1,598	1,661	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	1,689	H23実績を一定と
不燃ごみ	22		t/年		64	63	49	53	26	27	27	26	25	25	25	24	24	24	24	24	24	原単位×予測人口
粗大ごみ	23		t/年		255	252	244	233	184	188	182	179	176	173	170	168	168	168	169	169	169	原単位×予測人口
資源ごみ	24	Σ25～27	t/年		1,777	1,641	1,744	1,763	1,828	1,711	1,752	1,779	1,806	1,824	1,842	1,860	1,863	1,866	1,868	1,871	1,873	
びん	25		t/年	-	-	-	-	5	7	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	原単位×予測人口
缶	26		t/年	-	-	-	-	5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	原単位×予測人口
せん定枝	27		t/年		1,777	1,641	1,744	1,753	1,820	1,703	1,744	1,771	1,797	1,815	1,833	1,851	1,854	1,857	1,859	1,862	1,864	原単位×予測人口
その他(残土等)	28	※排出量に集計しない	t/年		215	179	232	189	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごみ排出量(家庭系ごみ+事業系ごみ)	29	1+19	t/年	65,081	65,217	63,680	61,982	59,865	58,597	59,142	58,263	57,637	56,984	56,335	55,668	55,193	55,280	55,365	55,438	55,513	55,581	
集団回収	30	Σ31～35	t/年	5,547	5,400	5,303	5,221	4,599	4,650	4,247	4,336	4,402	4,466	4,512	4,557	4,601	4,608	4,615	4,621	4,627	4,633	原単位×予測人口
びん	31		t/年	8	7	6	7	5	4	4	3	4	5	4	4	4	4	5	5	5	5	調整
くず鉄	32		t/年	23	26	29	32	31	30	26	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	H23比率で案分
古紙	33		t/年	5,415	5,270	5,168	5,087	4,483	4,530	4,137	4,224	4,288	4,350	4,395	4,439	4,482	4,489	4,495	4,501	4,507	4,513	H23比率で案分
布類	34		t/年	101	96	99	94	80	86	80	82	83	84	85	86	87	87	87	87	87	87	H23比率で案分
ペットボトル	35		t/年	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	H23比率で案分
ごみ発生量	36	29+30	t/年	70,628	70,617	68,983	67,203	64,464	63,247	63,389	62,599	62,039	61,450	60,847	60,225	59,794	59,888	59,980	60,059	60,140	60,214	

※平成17年度の斜体表記は、事業系ごみを含んだ値です。

安城市 ごみ排出原単位の実績と目標予測

			記号	単位	17年度 (2005)	18年度 (72605)	19年度 (70971)	20年度 (69191)	21年度 (66452)	22年度 (65235)	23年度 (65377)	24年度 (64587)	25年度 (64027)	26年度 (63438)	27年度 (62835)	28年度 (62213)	29年度 (61782)	30年度 (61876)	31年度 (61968)	32年度 (62047)	33年度 (62128)	34年度 (62202)	予測値算出方法		
家庭系ごみ			1	Σ2～5	g/人・日	1,037.79	687.82	692.38	676.74	658.18	637.45	642.32	636.38	628.24	620.11	612.35	604.59	598.84	598.84	598.84	598.84	598.84	598.84		
可燃ごみ			2	2/365/人口×10 ⁶	g/人・日	844.41	522.79	523.47	487.59	463.09	443.70	448.91	440.18	431.13	422.06	413.92	405.77	399.43	399.43	399.43	399.43	399.43	399.43	調整	
不燃ごみ			3	3/365/人口×10 ⁶	g/人・日	59.69	17.90	16.42	16.73	15.94	15.45	15.76	15.44	15.12	14.81	14.52	14.23	14.01	14.01	14.01	14.01	14.01	14.01	H23比率で案分	
粗大ごみ			4	4/365/人口×10 ⁶	g/人・日		34.52	31.90	31.53	30.80	29.75	31.00	30.38	29.75	29.13	28.56	28.00	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	27.56	H23比率で案分	
資源ごみ			5	Σ6～18	g/人・日	133.69	112.61	120.59	140.89	148.35	148.55	146.65	150.38	152.24	154.11	155.35	156.59	157.84	157.84	157.84	157.84	157.84	157.84		
缶			6		g/人・日		6.74	5.81	5.36	5.30	5.02	6.09	5.59	5.63	5.68	5.70	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71	調整	
びん			7		g/人・日		23.95	22.47	22.30	21.31	19.40	17.59	18.04	18.26	18.48	18.63	18.78	18.93	18.93	18.93	18.93	18.93	18.93	H23比率で案分	
ペットボトル			8		g/人・日		6.10	8.46	7.33	7.68	6.59	6.04	6.19	6.27	6.35	6.40	6.45	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	H23比率で案分	
新聞			9		g/人・日		20.38	22.41	28.31	29.69	31.03	31.01	31.80	32.19	32.59	32.85	33.11	33.38	33.38	33.38	33.38	33.38	33.38	H23比率で案分	
雑誌・雑がみ			10		g/人・日		16.26	18.99	31.09	36.32	37.50	37.27	38.22	38.69	39.17	39.48	39.80	40.11	40.11	40.11	40.11	40.11	40.11	H23比率で案分	
ダンボール			11		g/人・日		8.79	10.20	12.77	13.76	14.23	14.34	14.70	14.89	15.07	15.19	15.31	15.43	15.43	15.43	15.43	15.43	15.43	H23比率で案分	
牛乳パック			12		g/人・日		0.13	0.12	0.24	0.26	0.27	0.24	0.25	0.25	0.25	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	H23比率で案分	
古着・布類			13		g/人・日		2.74	3.82	4.05	5.21	5.64	6.24	6.40	6.48	6.56	6.61	6.66	6.72	6.72	6.72	6.72	6.72	6.72	H23比率で案分	
プラ製容器包装			14		g/人・日		19.77	20.27	20.44	19.65	19.87	19.35	19.84	20.09	20.33	20.50	20.66	20.83	20.83	20.83	20.83	20.83	20.83	H23比率で案分	
廃乾電池			15		g/人・日		0.86	0.88	0.75	0.75	0.74	0.87	0.89	0.90	0.91	0.92	0.93	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	H23比率で案分	
廃蛍光管			16		g/人・日		0.42	0.45	0.43	0.37	0.36	0.36	0.37	0.37	0.38	0.38	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	H23比率で案分	
せん定枝			17		g/人・日		6.47	6.71	7.82	8.05	7.90	7.25	7.43	7.53	7.62	7.68	7.74	7.80	7.80	7.80	7.80	7.80	7.80	H23比率で案分	
小型家電			18		g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	0.66	0.69	0.72	0.76	0.80	0.84	0.84	0.84	0.84	0.84	0.84	H24は最小見込み	1.05
事業系ごみ			19	Σ20～24	g/人・日		334.49	288.38	270.07	254.25	250.73	246.81	240.37	236.70	233.03	229.25	225.46	222.68	222.68	222.68	222.68	222.68	222.68		
可燃ごみ			20		g/人・日		276.99	233.91	215.75	198.65	194.65	192.46	185.44	181.57	177.69	173.81	169.91	167.00	167.04	167.08	167.11	167.14	167.17	調整	
可燃ごみ(公共草等)			21		g/人・日		24.64	24.35	23.20	24.36	25.18	25.39	25.42	25.35	25.29	25.23	25.18	25.14	25.10	25.06	25.03	25.00	24.97	排出量から逆算	
不燃ごみ			22		g/人・日		1.00	0.97	0.75	0.81	0.39	0.41	0.40	0.39	0.38	0.37	0.37	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	H23比率で案分	
粗大ごみ			23		g/人・日		4.00	3.88	3.73	3.85	2.79	2.83	2.74	2.69	2.64	2.59	2.54	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	H23比率で案分	
資源ごみ			24	Σ25～27	g/人・日		27.86	25.27	26.64	26.88	27.72	25.72	26.37	26.70	27.03	27.25	27.46	27.68	27.68	27.68	27.68	27.68	27.68		
びん			25		g/人・日	-	-	-	-	0.08	0.11	0.09	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	調整	
缶			26		g/人・日	-	-	-	-	0.08	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	H23比率で案分	
せん定枝			27		g/人・日		27.86	25.27	26.64	26.72	27.59	25.60	26.25	26.58	26.90	27.12	27.33	27.55	27.55	27.55	27.55	27.55	27.55	H23比率で案分	
その他(残土等)			28	※排出量に集計しない	g/人・日		3.37	2.76	3.54	2.88	2.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
ごみ排出量(家庭系ごみ+事業系ごみ)			29	1+19	g/人・日	1,037.79	1,022.31	980.76	946.81	912.43	888.18	889.13	876.75	864.94	853.14	841.60	830.05	821.52	821.52	821.52	821.52	821.52	821.52		
集団回収			30	30/365/人口×10 ⁶	g/人・日	88.45	84.65	81.67	79.75	70.09	70.48	63.85	65.25	66.06	66.86	67.40	67.95	68.48	68.48	68.48	68.48	68.48	68.48	調整	
																	0.00						H29目標	H24～H29 対前年伸び率	
目標 原 単 位	排出抑制	あ	1～5	g/人・日	904	575	572	536	510	489	496	486	476	466	457	448	441	441	441	441	441	441	636	0.980	
		い	19～24	g/人・日		307	263	243	227	223	221	214	210	206	202	198	195	195	195	195	195	195	0.980		
	資源回収(集団回収含む)	う	5+24+30	g/人・日	222	225	228	247	245	247	236	242	245	248	250	252	254	254	254	254	254	254	254	-	
発生抑制	え	あ+い+う	g/人・日		1,126	1107	1062	1027	983	959	953	942	931	920	909	898	890	890	890	890	890	890	890	890	0.988

【参考】処理・処分量の試算

			集計方法等	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	予測値算出方法		
焼却施設(環境クリーンセンター)																							集計方法に同じ		
搬入	可燃ごみ搬入量		2+20+21	t/年	52,954	52,593	50,758	47,563	45,016	43,776	44,351	43,264	42,517	41,749	41,030	40,297	39,744	39,807	39,867	39,921	39,973	40,022			
	し尿処理残さ			t/年	255	1,790	1,899	1,796	1,673	1,677	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655			
	破砕可燃物(リサイクルプラザ)		て	t/年	2,025	1,787	1,646	2,316	1,733	1,892	1,959	1,929	1,914	1,899	1,884	1,867	1,856	1,859	1,861	1,864	1,866	1,869			
	可燃残さ(プラスチックリサイクルセンター)		に	t/年	0	3	53	119	47	116	74	76	77	78	79	80	80	81	81	81	81	81			
	可燃残さ(資源化センター)		の	t/年	0	1	16	84	18	32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	可燃残さ(せん定枝リサイクル)		へ	t/年	542	673	586	634	819	824	589	686	720	752	775	797	820	823	827	829	833	836			
搬入量合計				t/年	55,776	56,847	54,958	52,512	49,306	48,317	48,629	47,611	46,884	46,134	45,424	44,697	44,156	44,226	44,292	44,351	44,409	44,464	H23搬出比率		
搬出	再処理焼却灰(溶融化)	か	－	t/年	3,436	3,002	4,030	4,022	3,498	2,045	1,509	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	※溶融化量を制限		
	(溶融スラグ量)	き	－	t/年	(1,715)	(3,002)	(4,030)	(2,328)	(2,394)	(1,421)	(1,008)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)				
	紙資源	く	－	t/年	93	77	72	68	50	52	55	54	53	52	51	50	49	49	49	50	50	50	0.0012	対可燃ごみ搬入量	
	焼却残さ量(埋立)	け	－	t/年	4,934	5,751	3,463	2,748	2,922	4,077	4,868	4,766	4,693	4,618	4,547	4,474	4,420	4,427	4,434	4,440	4,446	4,451	0.1001	対搬入量合計	
	搬出量合計			こ	t/年	8,463	8,830	7,565	6,838	6,470	6,174	6,432	6,320	6,246	6,170	6,098	6,024	5,969	5,976	5,983	5,990	5,996	6,001		

			集計方法等	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	予測値算出方法	
粗大・不燃ごみ処理施設(リサイクルプラザ)																							集計方法に同じ	
搬入	粗大ごみ搬入量	4	t/年	3,743	2,457	2,323	2,308	2,254	2,147	2,250	2,201	2,161	2,122	2,085	2,048	2,020	2,023	2,025	2,029	2,031	2,034			
	不燃ごみ搬入量	3+22	t/年		1,421	1,308	1,376	1,288	1,223	1,075	1,053	1,034	1,014	997	979	965	967	968	969	971	972			
	缶	6+26	t/年	2,011	430	377	351	353	332	407	373	377	381	384	385	386	386	387	387	388	388			
	ビン	7+25	t/年		1,528	1,459	1,460	1,403	1,287	1,176	1,205	1,223	1,241	1,254	1,266	1,279	1,281	1,283	1,284	1,286	1,288			
搬入量合計				t/年	5,754	5,836	5,467	5,495	5,298	4,989	4,908	4,832	4,795	4,758	4,720	4,678	4,650	4,657	4,663	4,669	4,676	4,682	H23搬出比率	
搬出	資源化(ビン)	さ	-	t/年	1,173	1,182	1,129	1,084	1,029	991	955	940	933	926	918	910	905	906	907	908	910	911	0.1946	対搬入量合計
	資源化(スチール缶成型品等)	し	-	t/年	1,654	304	289	263	269	244	240	236	234	233	231	229	227	228	228	228	229	229	0.0489	
	資源化(アルミ缶成型品等)	ず	-	t/年		115	83	75	74	86	181	178	177	175	174	173	171	172	172	172	173	0.0369		
	資源化(鉄類)	せ	-	t/年		1,031	886	862	763	671	673	663	658	652	647	641	638	639	639	640	641	642	0.1371	
	資源化(アルミ)	そ	-	t/年		23	18	20	19	27	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	0.0053	
	資源化(破砕困難物)	た	-	t/年		144	151	178	133	138	118	116	115	114	113	112	112	112	112	112	112	113	0.0240	
	再生家具	ち	-	t/年	665	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10	10	0.0020	
	不燃残さ(埋立)	つ	-	t/年	1,082	1,062	1,205	1,258	901	650	678	668	662	657	652	646	642	643	644	645	646	647	0.1381	
	可燃残さ(掘り起こし可燃ごみ除く)	て	-	t/年	2,025	1,787	1,646	2,316	1,733	1,892	1,959	1,929	1,914	1,899	1,884	1,867	1,856	1,859	1,861	1,864	1,866	1,869	0.3991	
	搬出量合計			と	t/年	6,599	5,658	5,417	6,066	4,931	4,709	4,840	4,766	4,728	4,691	4,654	4,613	4,585	4,593	4,598	4,604	4,611	4,619	

			集計方法等	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	予測値算出方法	
容器包装プラ処理施設(プラスチックリサイクルセンター)																							集計方法に同じ	
搬入	プラスチック製容器包装搬入量		14	t/年	1,260	1,261	1,316	1,338	1,289	1,311	1,287	1,318	1,339	1,358	1,372	1,386	1,399	1,402	1,404	1,406	1,408	1,409		
	搬入量合計			t/年	1,260	1,261	1,316	1,338	1,289	1,311	1,287	1,318	1,339	1,358	1,372	1,386	1,399	1,402	1,404	1,406	1,408	1,409	H23搬出比率	
搬出	資源化(プラ容器包装:民間処理資源化量)	な	-	t/年	1,157	1,188	1,257	1,219	1,163	1,188	1,164	1,192	1,211	1,228	1,241	1,254	1,265	1,268	1,270	1,272	1,273	1,274	0.9044	対搬入量合計
	可燃残さ	に	-	t/年		3	53	119	47	116	74	76	77	78	79	80	80	81	81	81	81	81	0.0575	
	搬出量合計		ぬ		t/年	1,157	1,191	1,310	1,338	1,210	1,304	1,238	1,268	1,288	1,306	1,320	1,334	1,345	1,349	1,351	1,353	1,354	1,355	

			集計方法等	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	予測値算出方法		
資源化センター																							集計方法に同じ		
搬入	ペットボトル搬入量		g	t/年	407	389	549	480	504	435	402	411	418	424	428	433	437	437	438	439	439	440			
	搬入量合計			t/年	407	389	549	480	504	435	402	411	418	424	428	433	437	437	438	439	439	440	H23搬出比率		
搬出	資源化(ペットボトル)		ね	-	t/年	332	381	421	394	391	402	390	399	406	411	415	420	424	424	425	426	426	427	0.9701	対搬入量合計
	可燃残さ		の	-	t/年		1	16	84	18	32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.0025		
	搬出量合計		は		t/年	332	382	437	478	409	434	391	400	407	412	416	421	425	425	426	427	427	428		

			集計方法等		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	予測値算出方法	
せん定枝リサイクルプラント				単位																			集計方法に同じ	
搬入	せん定枝搬入量		17+27	t/年	2,064	2,190	2,077	2,256	2,281	2,341	2,185	2,238	2,273	2,306	2,329	2,352	2,375	2,379	2,383	2,385	2,389	2,392		
	搬入量合計			t/年	2,064	2,190	2,077	2,256	2,281	2,341	2,185	2,238	2,273	2,306	2,329	2,352	2,375	2,379	2,383	2,385	2,389	2,392	H23搬出比率	
(堆肥化処理量)		ひ		t/年	1,522	(1,517)	(1,491)	(1,556)	(1,399)	(1,479)	(1,545)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)		
搬出	資源化(たい肥)	ふ		t/年	913	1,083	1,176	999	1,121	1,078	1,041	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	0.6738	対堆肥化処理量
	破砕品	へ		t/年				66	63	38	51	52	53	54	54	55	55	56	56	56	56	56	0.0233	対搬入量
	可燃残さ	ほ	搬入量合計－ひ－へ	t/年	542	673	586	634	819	824	589	686	720	752	775	797	820	823	827	829	833	836		
	搬出量合計		ま		t/年	1,455	1,756	1,762	1,699	2,003	1,940	1,681	1,749	1,784	1,817	1,840	1,863	1,886	1,890	1,894	1,896	1,900	1,903	

		集計方法等	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度		
最終処分																							
		直接埋立	み	-	t／年	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		焼却灰	む	け	t／年	4,934	5,751	3,463	2,748	2,922	4,077	4,868	4,766	4,693	4,618	4,547	4,474	4,420	4,427	4,434	4,440	4,446	4,451
		不燃残さ	め	つ	t／年	1,082	1,062	1,205	1,258	901	650	678	668	662	657	652	646	642	643	644	645	646	647
		埋立処分量合計	も		t／年	6,210	6,813	4,668	4,006	3,823	4,727	5,546	5,434	5,355	5,275	5,199	5,120	5,062	5,070	5,078	5,085	5,092	5,098

		集計方法		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
総資源化量																					
集団回収量	や	30	t／年	5,547	5,400	5,303	5,221	4,599	4,650	4,247	4,336	4,402	4,466	4,512	4,557	4,601	4,608	4,615	4,621	4,627	4,633
直接資源化量	ゆ	Σ9～13、15～16、18	t／年	2,614	3,163	3,692	5,082	5,666	5,923	6,009	6,200	6,295	6,389	6,456	6,522	6,588	6,598	6,610	6,618	6,628	6,636
処理後資源化量(溶融スラグ量、堆肥量)	よ	㊟き、く、さ～ち、な、ね、ふ～へ	t／年	7,702	8,540	9,522	7,566	7,479	6,346	5,912	5,877	5,886	5,891	5,890	5,890	5,891	5,899	5,904	5,910	5,915	5,921
総資源化量	ら	Σや～よ	t／年	15,863	17,103	18,517	17,869	17,744	16,919	16,168	16,413	16,583	16,746	16,858	16,969	17,080	17,105	17,129	17,149	17,170	17,190
リサイクル率＝総資源化量/ごみ発生量	リ	ら÷36×100		22.5%	24.2%	26.8%	26.6%	27.5%	26.8%	25.5%	26.2%	26.7%	27.3%	27.7%	28.2%	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	28.5%

●意識調査結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の期間

市 民：平成 24 年 11 月 2 日（金）～平成 24 年 11 月 20 日（火）

事業者：平成 24 年 11 月 14 日（水）～平成 24 年 11 月 27 日（火）

(2) 対象

区 分	対 象	
市 民	市内在住の 18 歳以上の市民 から無作為に抽出	2,000 人 (全市民の 1.7%)
事業者	市内事業所から無作為に抽出	100 件 (全事業所の 7.7%)

(3) 回収状況

区 分	発送数	回収数	回収率
市 民	2,000	895	44.8%
事業者	100	43	43.0%

(4) 集計上の注意点

選択式の回答のうち、回答をひとつ選ぶものは円グラフ、回答を複数選ぶものは棒グラフを基本として示しています。

回答割合(%)は、回答件数(サンプル数)から未回答を除いたサンプル数に対する割合を示しています。

問題文等は、変更している場合があります。

2. 調査の結果

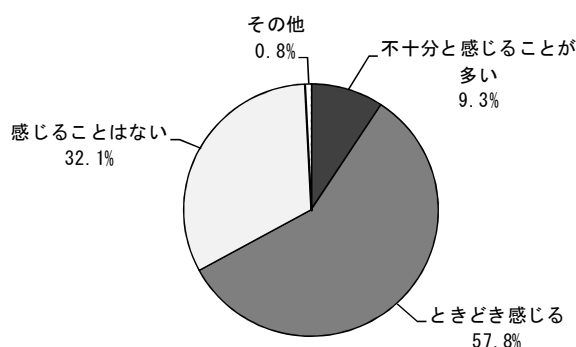
(1) 市民

問1 地域のごみに関して、気になっていることについて

あなたの周りで、ごみの減量や分別が不十分であると感じることはありますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「ときどき感じる」が最も多く、「不十分と感じることが多い」と合わせると6割近くの人が地域のごみに関して、「減量や分別が不十分」であると感じています。

「その他」としては、「プラスチックの分別が難しい」、「整理整頓されている」などがあげられています。



n=886

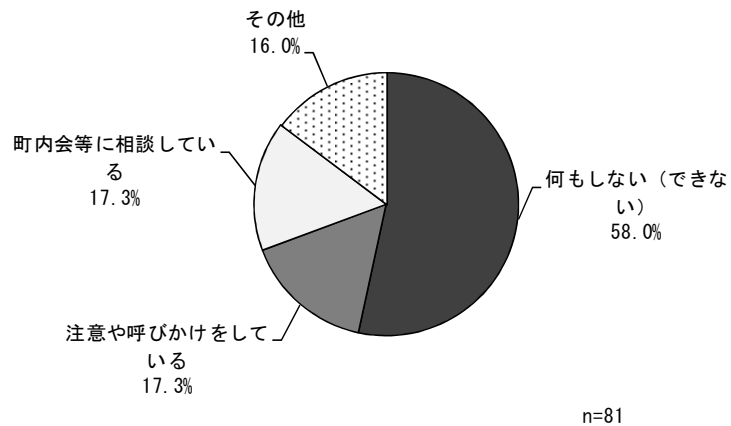
選択肢	件数	%
不十分と感じることが多い	82	9.3
ときどき感じる	513	57.8
感じることはない	284	32.1
その他	7	0.8
未回答	8	—
サンプル数	894	886

問2 不十分と感じたときのあなたの行動について

（問1で1と答えた人のみ）ごみの減量や分別が不十分であると感じたとき、あなたはどのようなことをしていますか。あなたの行動に最も近いものをすべて選んでください。

半数以上が「何もしない（できない）」と回答しています。

「その他」としては、「見かけたときに教えてあげる」、「家に持ち帰り分別しなおして出す」、「ごみステーションに張り紙をする」などがあげられています。



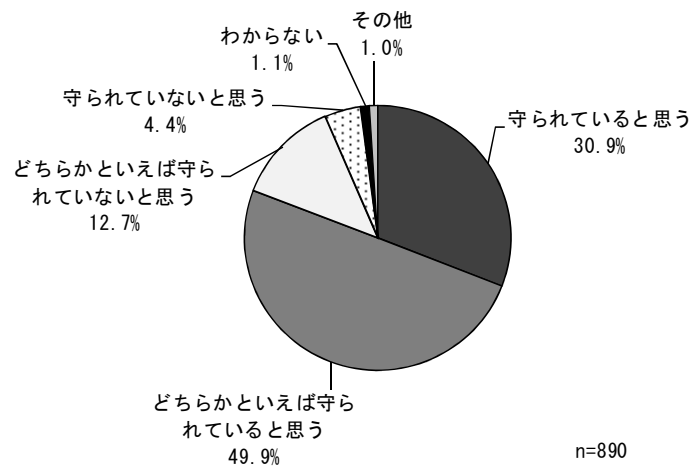
選択肢	件数	%
何もしない（できない）	47	58.0
注意や呼びかけをしている	14	17.3
町内会等に相談している	14	17.3
その他	13	16.0
未回答	1	—
サンプル数	82	81

問3 ごみステーションのマナーについて

あなたが利用するごみステーションでは、ルールが守られていますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「どちらかといえば守られていると思う」が最も多く、「守られていると思う」とあわせると8割以上が「守られている」と答えています。

「その他」としては、「他の地域の人が捨てにくる」、「夜間、車で通りすがりに捨てていく」、「一部の方のみ守れていない」などがあげられています。



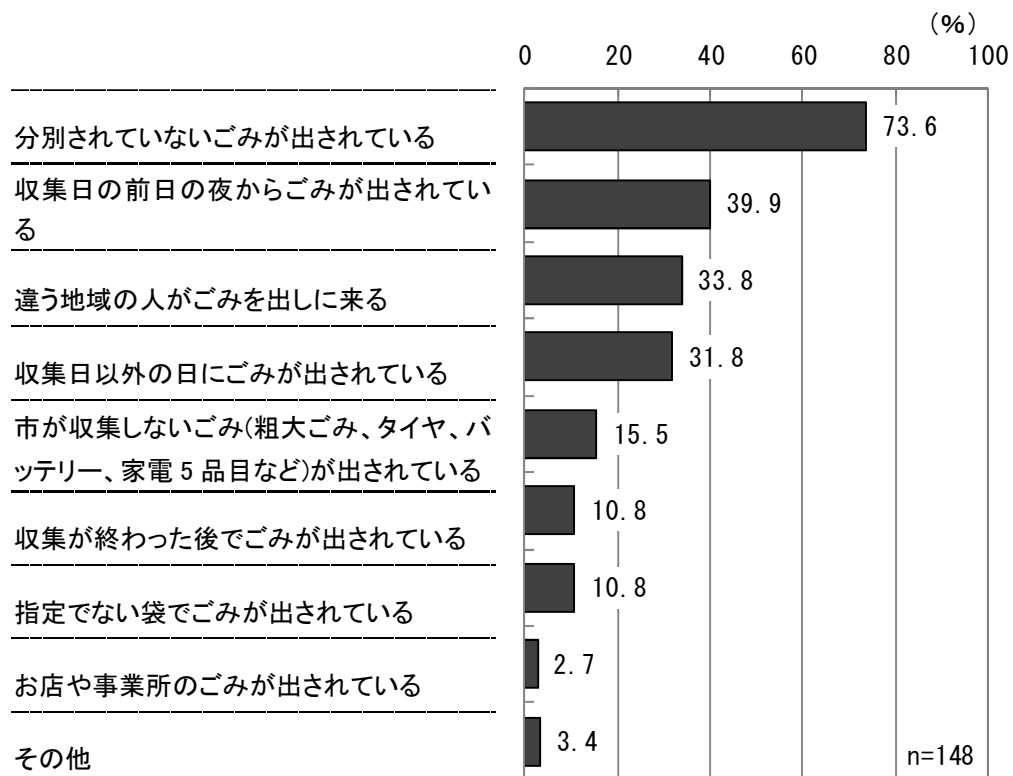
選択肢	件数	%
守られていると思う	275	30.9
どちらかといえば守られていると思う	444	49.9
どちらかといえば守られていないと思う	113	12.7
守られていないと思う	39	4.4
わからない	10	1.1
その他	9	1.0
未回答	4	—
サンプル数	894	890

問4 ごみステーションで守られていないルールについて

(問4で 3,4 と答えた人のみ) あなたが、ごみステーションでルールが守られていないと思う理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つまで選んでください。

ルールが守られていないこととして、「分別されていないごみが出されている」を8割近くの人があげています。その他には、「収集日の前日の夜からごみが出されている」、「違う地域の人のごみを出しに来る」などがあげられています。

「その他」としては、「空き瓶、空き缶のカゴが守られていない」、「ジュースやお菓子を食べた後、ごみ箱代わりに捨てられる」などがあげられています。



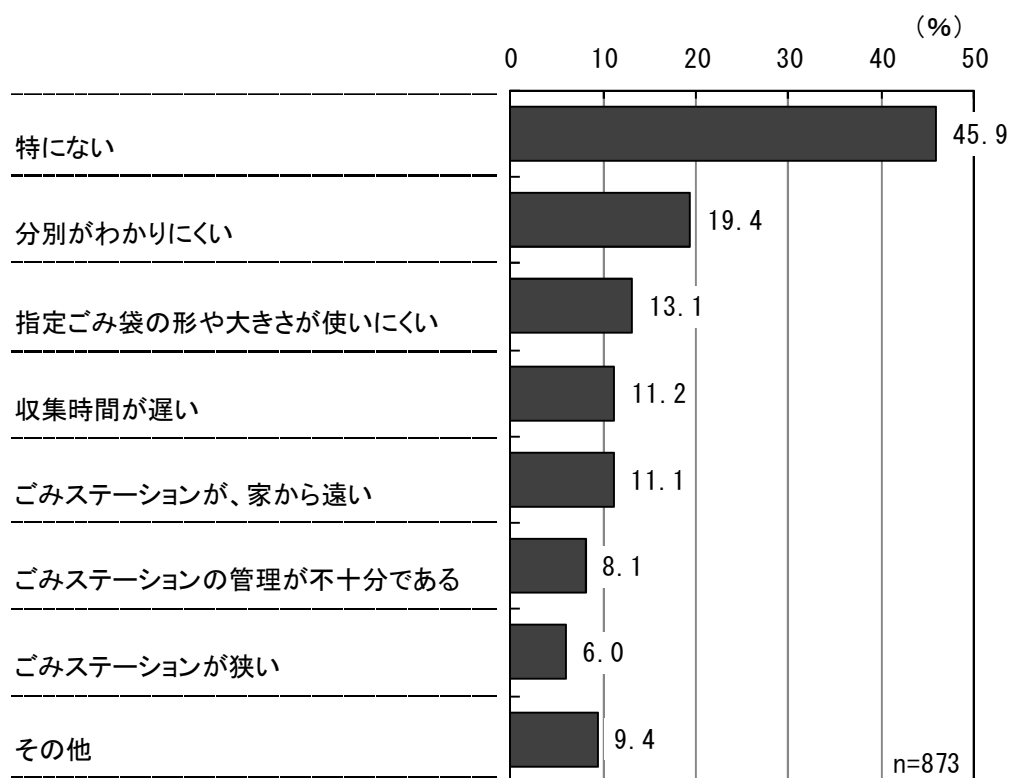
選択肢	件数	%
分別されていないごみが出されている	109	73.6
収集日の前日の夜からごみが出されている	59	39.9
違う地域の人のごみを出しに来る	50	33.8
収集日以外の日にごみが出されている	47	31.8
市が収集しないごみ（粗大ごみ、タイヤ、バッテリー、家電5品目など）が出されている	23	15.5
収集が終わった後でごみが出されている	16	10.8
指定でない袋でごみが出されている	16	10.8
お店や事業所のごみが出されている	4	2.7
その他	5	3.4
未回答	4	—
サンプル数	152	148

問5 ごみ出しの際、気になっていることについて

あなたがごみを出す際、気になっていることはありますか。あなたの考えに最も近いものを3つまで選んでください。

「特にない」が最も多く半数近くの方があげています。次いで「分別がわかりにくい」「指定ごみ袋の形や大きさが使いにくい」となっています。

「その他」としては、「収集時間が早い」、「カラスがごみを散らかす」、「ごみ袋が薄手で破ける」などがあげられています。



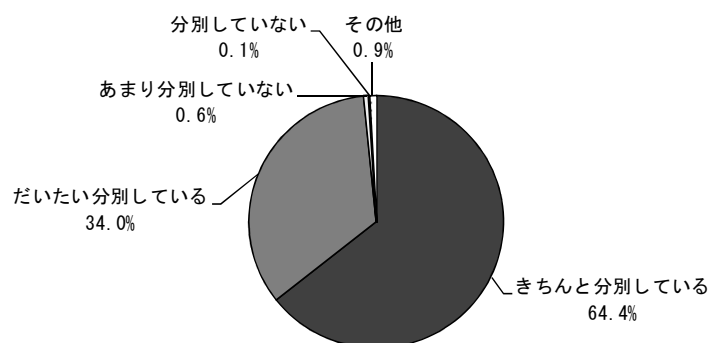
選択肢	件数	%
特にない	401	45.9
分別がわかりにくい	169	19.4
指定ごみ袋の形や大きさが使いにくい	114	13.1
収集時間が遅い	98	11.2
ごみステーションが、家から遠い	97	11.1
ごみステーションの管理が不十分である	71	8.1
ごみステーションが狭い	52	6.0
その他	82	9.4
未回答	21	—
サンプル数	894	873

問6 ごみの分別について

あなたは、市が収集するごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ（びん、缶、古紙、古着）、プラスチック製容器包装）をきちんと分別していますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「きちんと分別している」が6割以上であり、「だいたい分別している」と合わせると98%以上が分別していると答えています。

「その他」としては、「分別方法が分からず電話で問い合わせても、担当の人も分かっていない」、「分別はしているが、家庭ごみと資源の分け方・出し方 早わかりブックを見ても分からないことがある」などがあげられています。



n=892

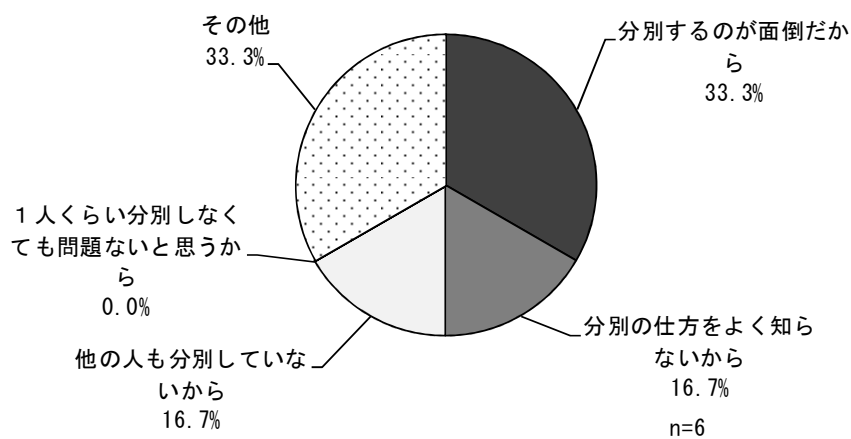
選択肢	件数	%
きちんと分別している	575	64.4
だいたい分別している	303	34.0
あまり分別していない	5	0.6
分別していない	1	0.1
その他	8	0.9
未回答	2	—
サンプル数	894	892

問7 分別していない理由について

（問6で 3, 4 と答えた人のみ）あなたがごみを分別していない主な理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「分別するのが面倒だから」が最も多く、次いで「分別の仕方をよく知らないから」、「他の人も分別していないから」となっています。

「その他」としては、「化学的に分別区分がおかしい」、「分別表が多すぎてやり方が分からない」などがあげられます。



選択肢	件数	%
分別するのが面倒だから	2	33.3
分別の仕方をよく知らないから	1	16.7
他の人も分別していないから	1	16.7
1人くらい分別しなくても問題ないと思うから	0	0.0
その他	2	33.3
未回答	0	—
サンプル数	6	6

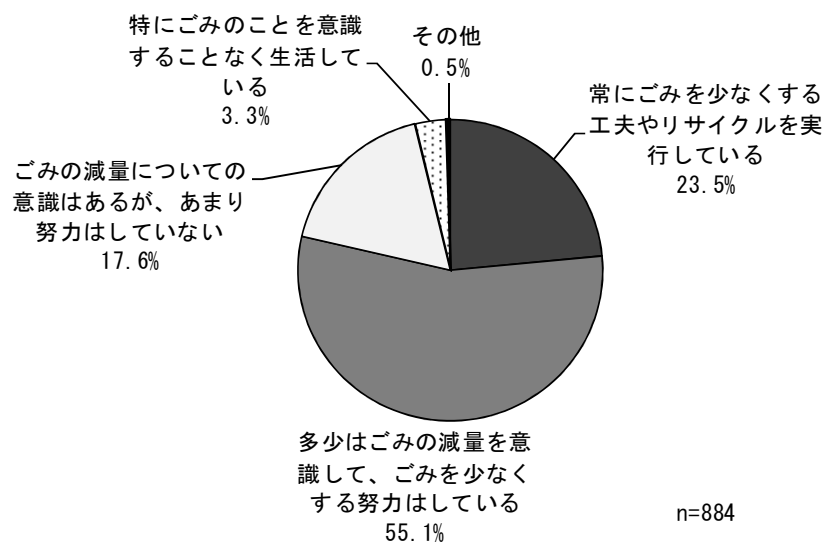
問8 ごみ減量やリサイクルに対する意識について

あなたは日ごろ、ごみ減量やリサイクルなどを意識して生活していますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「多少はごみの減量を意識して、ごみを少なくする努力はしている」が55.1%で、「常にごみを少なくする工夫やリサイクルを実行している」を合わせると、8割近くが何らかの行動をしています。

一方、17.6%が「あまり努力はしていない」となっています。

「その他」としては、「車が無いのでリサイクルセンターに行けない」、「毎日出るごみは減量できない」「新しい家電や家具を買った時の梱包材が無駄に感じる」などがあげられます。



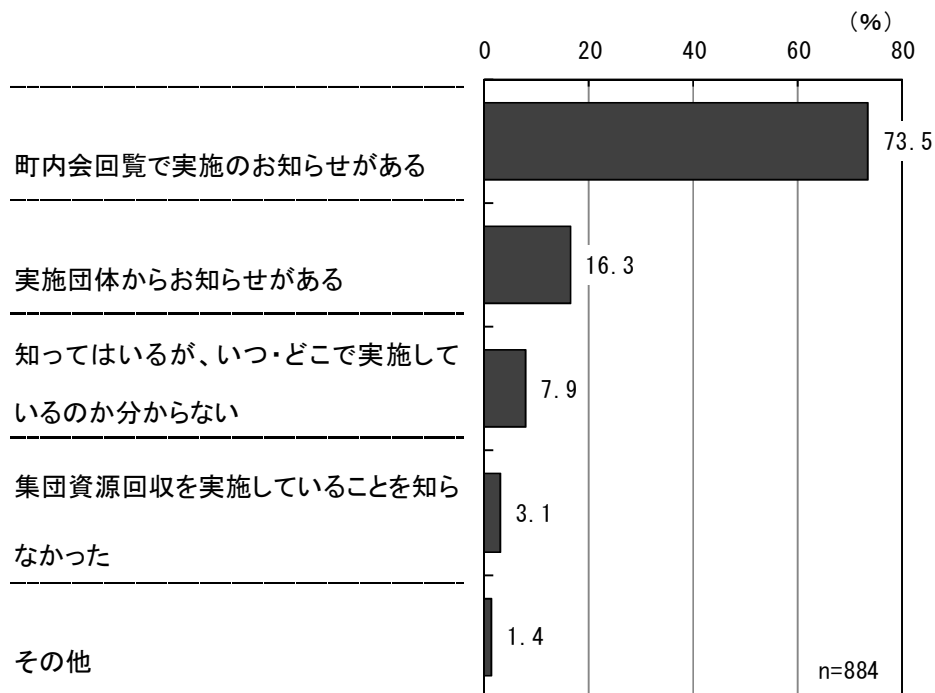
選択肢	件数	%
常にごみを少なくする工夫やリサイクルを実行している	208	23.5
多少はごみの減量を意識して、ごみを少なくする努力はしている	487	55.1
ごみの減量についての意識はあるが、あまり努力はしていない	156	17.6
特にごみのことを意識することなく生活している	29	3.3
その他	4	0.5
未回答	10	—
サンプル数	894	884

問9 集団資源回収について

市民の自主的な取組みとして、PTA、子ども会、老人会などの団体が主体となって、新聞、雑誌などの売却可能な資源物の回収を実施しています。このような集団資源回収に関する情報は届いていますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

「町内会回覧で実施のお知らせがある」が最も多く、7割以上がこれを主な情報として利用しています。

「その他」としては、「協力したいが、子供がいないので子供会等の出す日が分からない」、「知ってはいるが、新聞・雑誌を保管する場所が無い」があげられています。



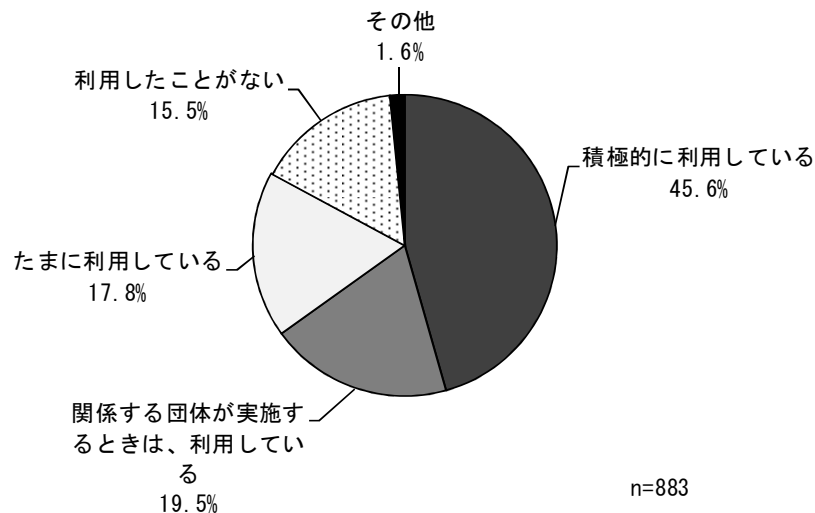
選択肢	件数	%
町内会回覧で実施のお知らせがある	650	73.5
実施団体からのお知らせがある	144	16.3
知ってはいるが、いつ・どこで実施しているのかわからない	70	7.9
集団資源回収を実施していることを知らなかった	27	3.1
その他	12	1.4
未回答	10	—
サンプル数	894	884

問１０ 集団資源回収の利用について

集団資源回収を利用していますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「積極的に利用している」が 45.6%で、「関係する団体が実施するときは、利用している」と「たまに利用している」を合わせると 8 割以上が利用しています。

「その他」としては、「雨で実施しなかったりするので、今は利用していない」、「保管する場所が無い」、「リサイクルステーションに持ち込む方が便利」などがあげられています。

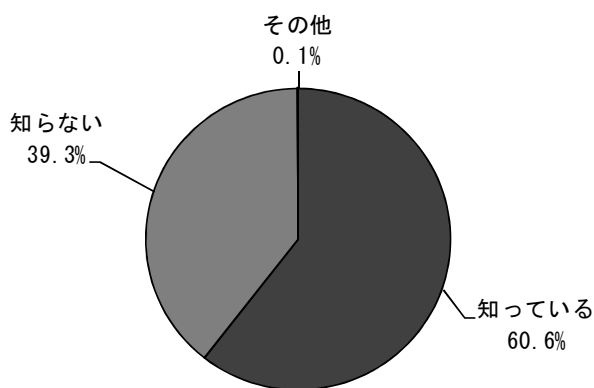


選択肢	件数	%
積極的に利用している	403	45.6
関係する団体が実施するときは、利用している	172	19.5
たまに利用している	157	17.8
利用したことがない	137	15.5
その他	14	1.6
未回答	11	—
サンプル数	894	883

問1-1 集団資源回収の報償金制度について

集団資源回収を実施する団体に対しては、回収量に応じて一定の報償金を市から支給することで、資源化を促進するとともに、市民の活動を支援しています。集団資源回収がこのような制度で実施されていたことを知っていましたか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「知っている」が60.6%で、「知らない」が39.3%になっています。



n=889

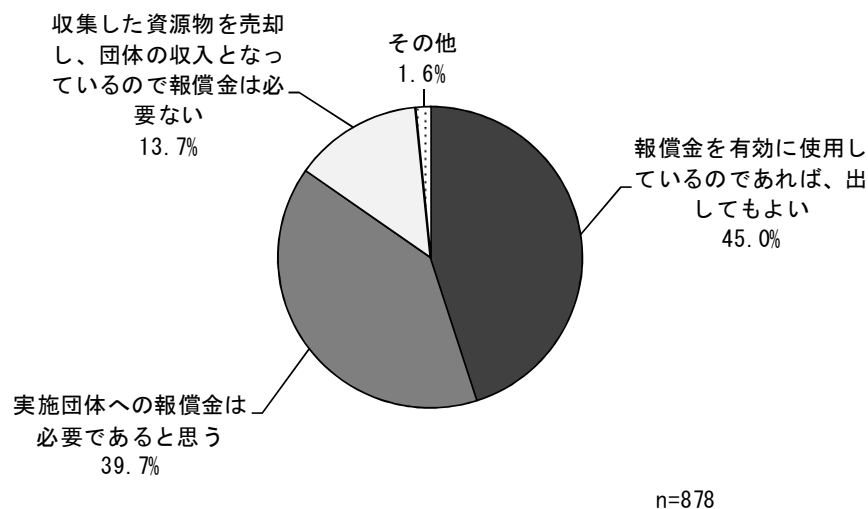
選択肢	件数	%
知っている	539	60.6
知らない	349	39.3
その他	1	0.1
未回答	5	—
サンプル数	894	889

問１２ 集団資源回収の報償金について

集団資源回収を実施する団体では、支給された報償金を活動費として市民活動に役立てています。市が支給する報償金について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「報償金を有効に使用しているのであれば、出してもよい」が 45.0%、「実施団体への報償金は必要であると思う」と合わせると 8 割以上が、活動費として報償金はあってもよいと考えています。

「その他」としては、「報償金の使い道を明確にするべき」、「子供会は回覧板にプリントを出すだけで回収は業者がやっている。以前の様にしっかりやるならば報償金の意味もある」などがあげられています。



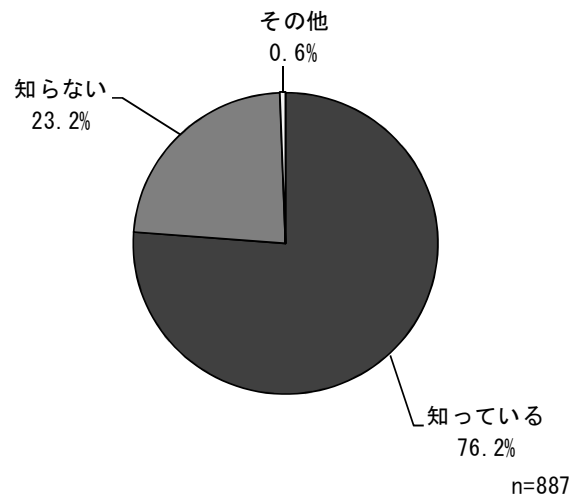
選択肢	件数	%
報償金を有効に使用しているのであれば、出してもよい	395	45.0
実施団体への報償金は必要であると思う	349	39.7
収集した資源物を売却し、団体の収入となっているので報償金は必要ない	120	13.7
その他	14	1.6
未回答	16	—
サンプル数	894	878

問13 生ごみ処理機器の購入助成について

可燃ごみの約50%を占める生ごみの、減量と資源化を促進するため、生ごみ処理機器を購入した世帯に、一定の補助金を市から支給しています。このような補助金の制度を知っていましたか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

生ごみ処理機器の補助金の制度を「知っている」と回答した市民が 76.2%で、「知らない」は 23.2%となっています。

「その他」としては、「補助金は知っているが、処理方法など詳しいことが分からない」、「関心がない」などがあげられています。



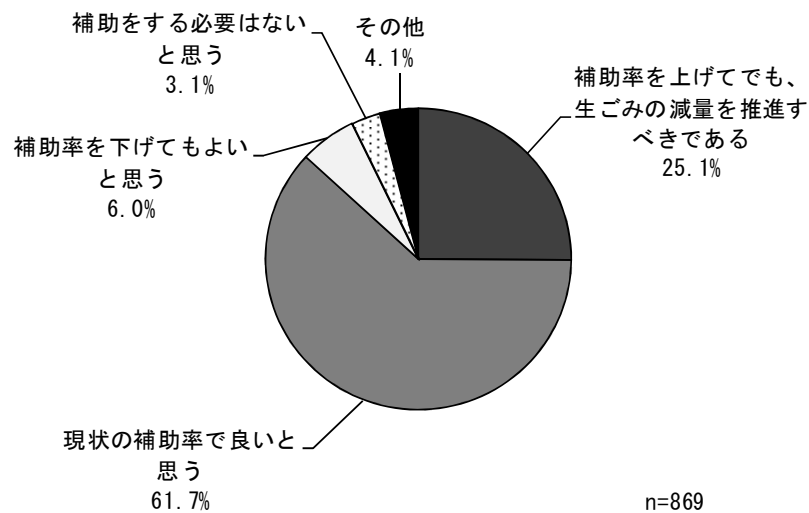
選択肢	件数	%
知っている	676	76.2
知らない	206	23.2
その他	5	0.6
未回答	7	—
サンプル数	894	887

問14 生ごみ処理機器の購入補助金について

現在、生ごみ処理機器の購入価格に対して、3分の2を補助しています。あなたの考えに最も近いものを 1つだけ 選んでください。

「現状の補助率で良いと思う」が61.7%で半数以上を占めています。

「その他」としては、「集合住宅に住んでいるため置く場所に困る」、「処理した後のたい肥を処理する場所がない」、「補助率はそのままでいいが、購入先を安城市内に限らなくてもよいのでは」などがあげられています。



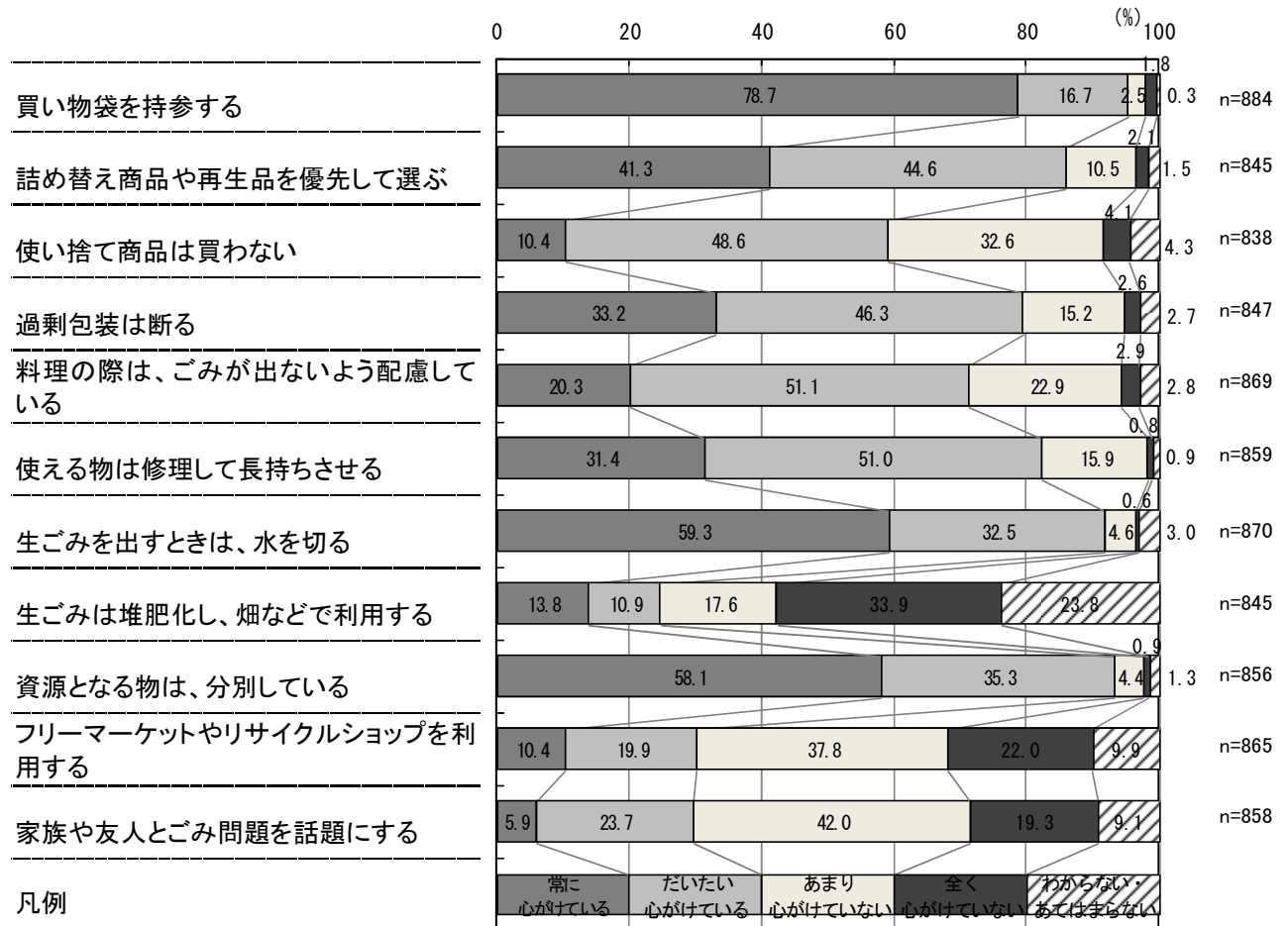
選択肢	件数	%
補助率を上げてでも、生ごみの減量を推進すべきである	218	25.1
現状の補助率で良いと思う	536	61.7
補助率を下げてもよいと思う	52	6.0
補助をする必要はないと思う	27	3.1
その他	36	4.1
未回答	25	—
サンプル数	894	869

問15 ごみ減量やリサイクルなどへの取り組みについて

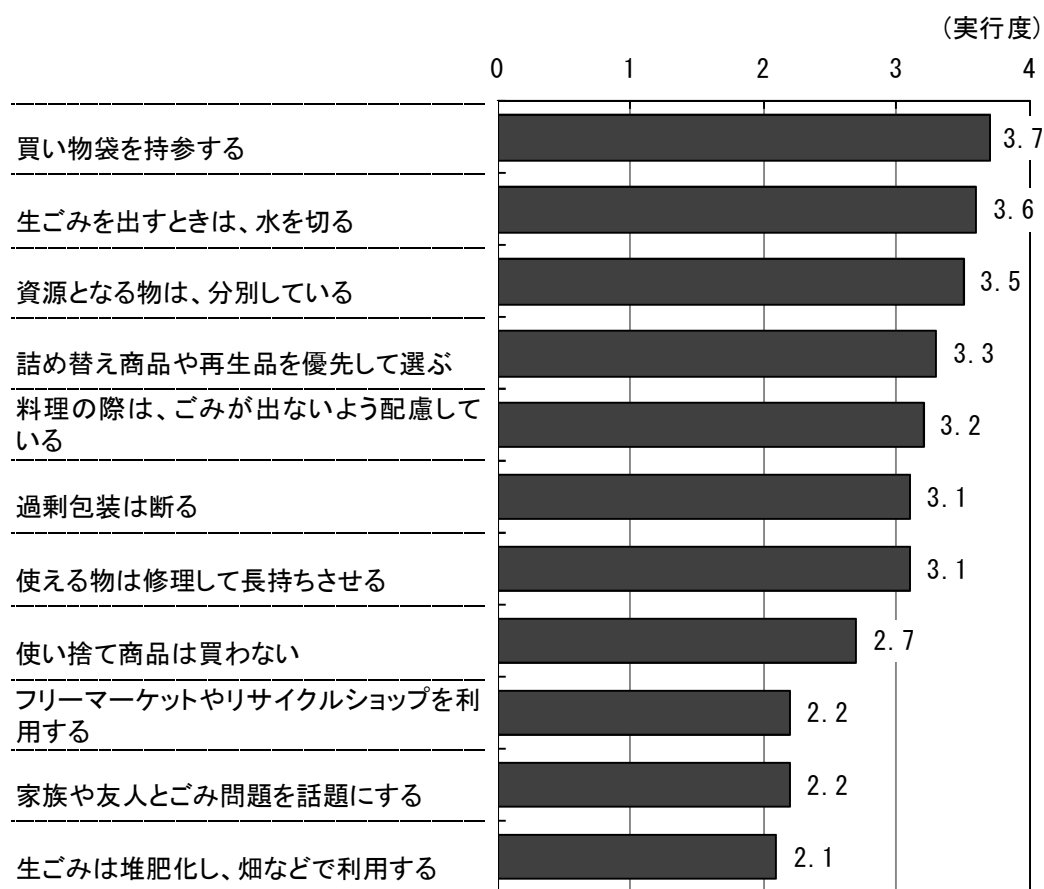
あなたは、ごみの減量やリサイクルに対して、どのように取り組んでいますか。あなたの行動に最も近いものを、それぞれ1つずつ選び、(例)のように、枠内の該当する数字を○で囲んでください。

「常に心がけている」が多いのは、「買い物袋を持参する」、「生ごみを出すときは、水を切る」、「資源となる物は、分別している」です。

「全く心がけていない」が多いのは、「生ごみは堆肥化し、畑などで利用する」です。



実行度でみると、「買い物袋を持参する」と「生ごみの水を切る」のほか、物を大切に使うことや環境に気を使っている市民が多くなっています。



※実行度＝{（「常に心がけている」回答数）×4＋（「だいたい心がけている」回答数）×3
 ＋（「あまり心がけていない」回答数）×2＋（「全く心がけていない」回答数）×1}
 ÷{有効回答数－（わからない・あてはまらない」回答数）}として算出した。

(上段:件数、下段:%)

	合計	常に心がけている	だいたい心がけている	あまり心がけていない	全く心がけていない	わからない・当てはまらない	実行度
買物袋を持参する	884	695	148	22	16	3	3.7
	100	78.7	16.7	2.5	1.8	0.3	
詰め替え商品や再生品を優先して選ぶ	845	349	376	89	18	13	3.3
	100	41.3	44.6	10.5	2.1	1.5	
使い捨て商品は買わない	838	87	408	273	34	36	2.7
	100	10.4	48.6	32.6	4.1	4.3	
過剰包装は断る	847	281	392	129	22	23	3.1
	100	33.2	46.3	15.2	2.6	2.7	
料理の際は、ごみが出ないように配慮している	869	445	176	199	25	24	3.2
	100	20.3	51.1	22.9	2.9	2.8	
使える物は修理して長持ちさせる	859	270	437	137	7	8	3.1
	100	31.4	51.0	15.9	0.8	0.9	
生ごみを出すときは、水を切る	870	516	283	40	5	26	3.6
	100	59.3	32.5	4.6	0.6	3.0	
生ごみはたい肥化し、畑などで利用する	845	117	92	149	286	201	2.1
	100	13.8	10.9	17.6	33.9	23.8	
資源となる物は、分別している	856	497	302	38	8	11	3.5
	100	58.1	35.3	4.4	0.9	1.3	
フリーマーケットやリサイクルショップを利用する	865	90	172	327	190	86	2.2
	100	10.4	19.9	37.8	22.0	9.9	
家族や友人とごみ問題を話題にする	858	51	203	360	166	78	2.2
	100	5.9	23.7	42.0	19.3	9.1	

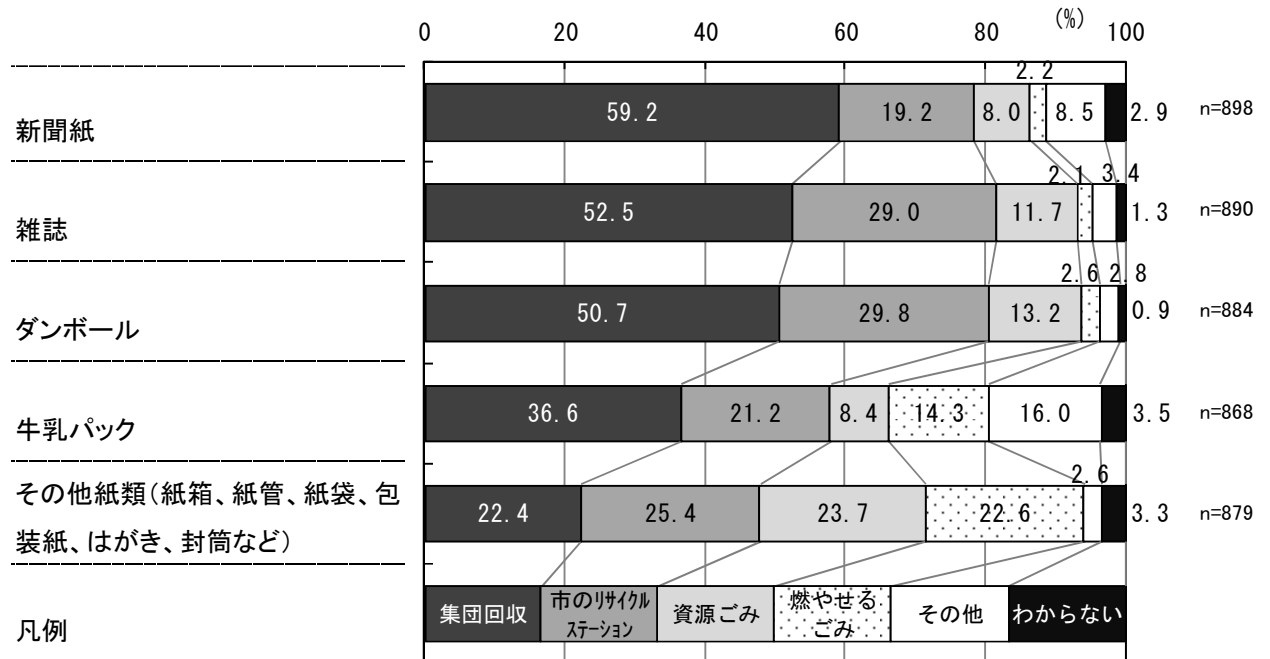
※実行度＝{（「常に心がけている」回答数）×4＋（「だいたい心がけている」回答数）×3
 ＋（「あまり心がけていない」回答数）×2＋（「全く心がけていない」回答数）×1}
 ÷{有効回答数－（わからない・当てはまらない」回答数）}として算出した。

※※下線は、各設問の最大値を示す。

問16 紙類の処分について

あなたは、リサイクルできる紙類を、どのように処分していますか。あなたの行動で最も多いものを、それぞれの品目について選び、枠内の数字を○で囲んでください。

新聞紙、雑誌、ダンボールは、8割近くが「集団資源回収」と「リサイクルステーション」により排出されています。牛乳パック、その他紙類は、「集団資源回収」と「リサイクルステーション」による排出が上記3種の資源よりも少なくなっています。



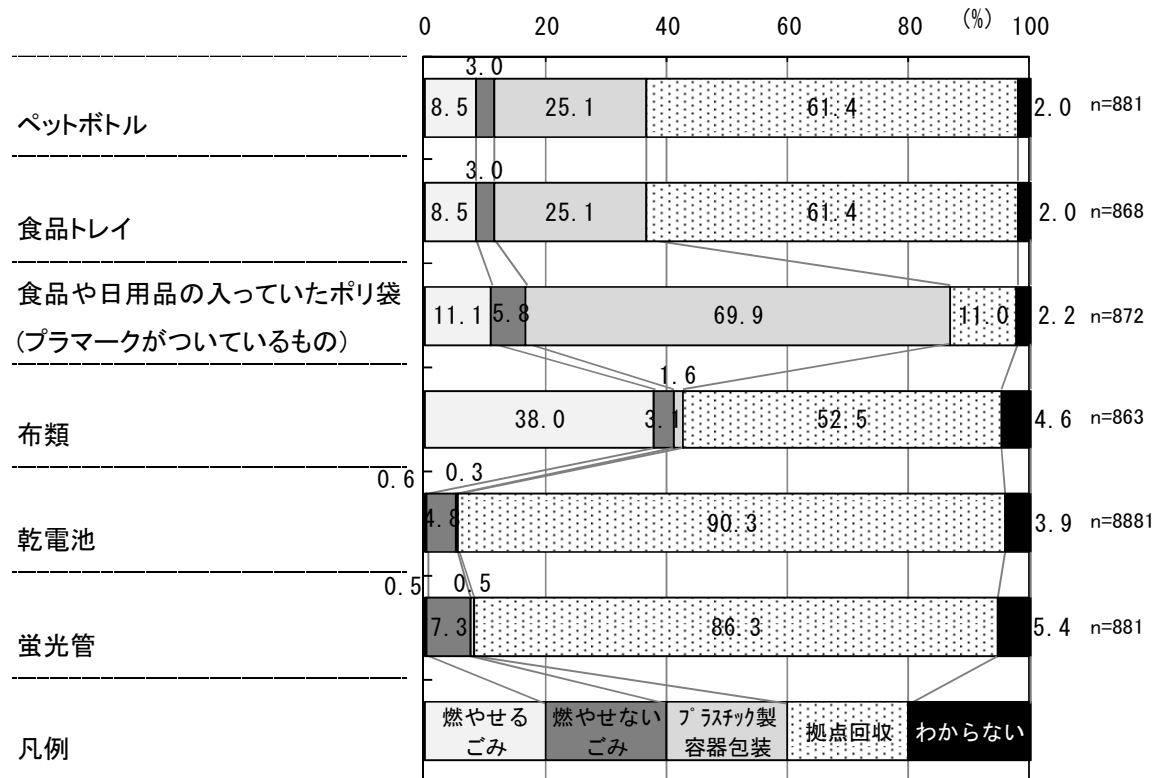
(上段: 件数、下段: %)

	合計	集団資源回収を利用	市のリサイクルステーションを利用	資源ごみとして排出 (ごみステーション)	燃やせるごみで排出 (ごみステーション)	その他 (新聞店による回収・店頭回収を利用など)	わからない
新聞紙	898	532	172	72	20	76	26
	100	59.2	19.2	8.0	2.2	8.5	2.9
雑誌	890	467	258	104	19	30	12
	100	52.5	29.0	11.7	2.1	3.4	1.3
ダンボール	884	448	263	117	23	25	8
	100	50.7	29.8	13.2	2.6	2.8	0.9
牛乳パック	868	318	184	73	124	139	30
	100	36.6	21.2	8.4	14.3	16.0	3.5
その他紙類 (紙箱、紙管、紙袋、包装紙、はがき、封筒など)	879	197	223	208	199	23	29
	100	22.4	25.4	23.7	22.6	2.6	3.3

問17 紙類以外の処分について

あなたは、紙類以外のリサイクルできるものを、どのように処分していますか。あなたの行動で最も多いものを、それぞれの品目について1つずつ選び、枠内の数字を○で囲んでください。

ほとんどの資源が「拠点回収」により排出されていますが、布類は38.0%が「燃やせるごみ」として排出されています。



(上段: 件数、下段: %)

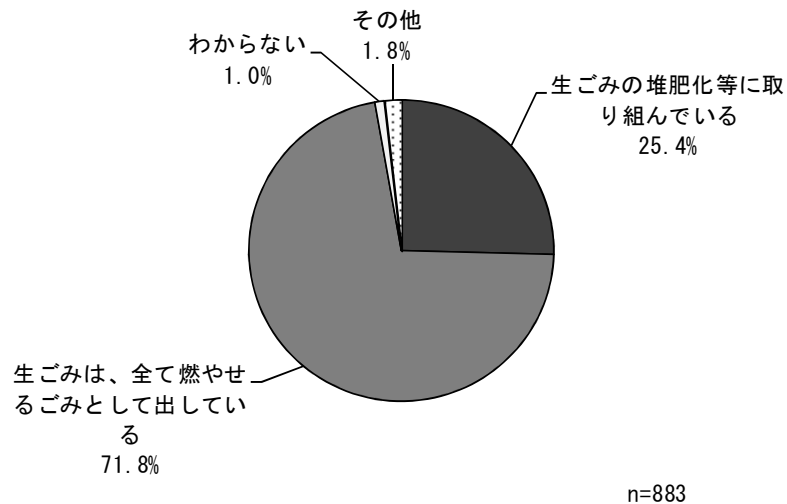
	合計	燃やせるごみで排出 (ごみステーション)	燃やせないごみで排出 (ごみステーション)	プラスチック製容器包装で排出 (ごみステーション)	拠点回収を利用 (リサイクルステーション、公共施設、店舗など)	わからない
ペットボトル	881	26	14	42	790	9
	100	8.5	3.0	25.1	61.4	2.0
食品トレイ	868	74	26	218	533	17
	100	8.5	3.0	25.1	61.4	2.0
食品や日用品の入っていたポリ袋 (プラマークがついているもの)	872	97	51	609	96	19
	100	11.1	5.8	69.9	11.0	2.2
布類	863	328	27	14	454	40
	100	38.0	3.1	1.6	52.5	4.6
乾電池	881	5	42	3	797	34
	100	0.6	4.8	0.3	90.3	3.9
蛍光管	881	4	64	4	761	48
	100	0.5	7.3	0.5	86.3	5.4

問18 生ごみの処分について

あなたの家では、生ごみをどのように処分していますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

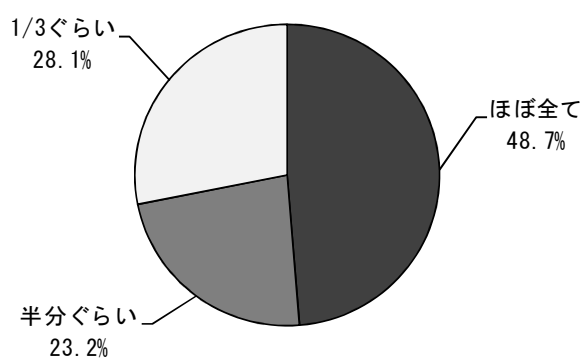
「生ごみの堆肥化等に取り組んでいる」が25.4%で、生ごみは71.8%が「燃やせるごみとして出している」となっています。

「その他」としては、「ディスポーザーを利用している」、「天日干して、乾燥させる」「庭があればやりたい」などがあげられています。



選択肢	件数	%
生ごみの堆肥化等に取り組んでいる	224	25.4
生ごみは、全て燃やせるごみとして出している	634	71.8
わからない	9	1.0
その他	16	1.8
未回答	11	—
サンプル数	894	883

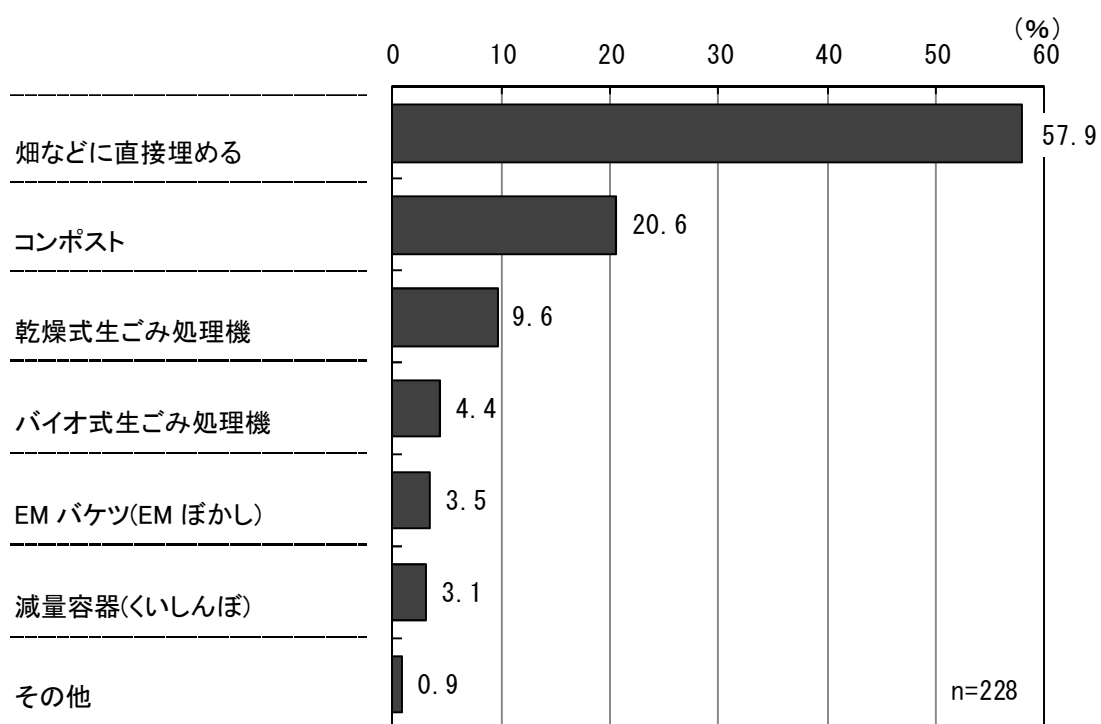
たい肥化に取り組んでいると答えた人 203 人にたい肥化する量を尋ねたところ、48.7%が発生する生ごみを「ほぼ全て」たい肥化すると答えています。



n=203

選択肢	件数	(除不) %
ほぼ全て	99	48.7
半分ぐらい	47	23.2
1/3ぐらい	57	28.1
未回答	21	—
サンプル数 (%ベース)	224	203

処理の方法は、57.9%が「畑などに直接埋める」で、たい肥化容器などの使用は多くありません。



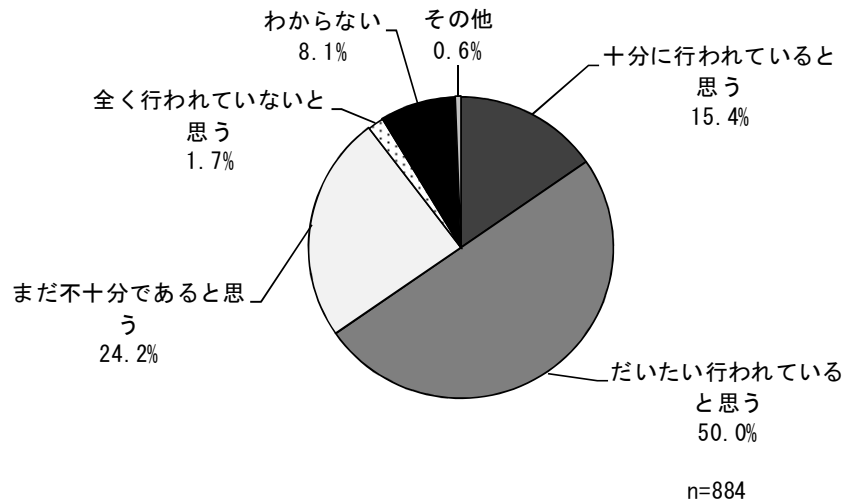
選択肢	件数	%
畑などに直接埋める	132	57.9
コンポスト	47	20.6
乾燥式生ごみ処理機	22	9.6
バイオ式生ごみ処理機	10	4.4
EMバケツ（EMぼかし）	8	3.5
減量容器（くいしんぼ）	7	3.1
その他	2	0.9
未回答	6	—
サンプル数	234	228

問19 市のごみ減量・リサイクルに関するPRについて

あなたは、これまでの市のごみ減量・リサイクルに関するPRは、効果的に行われていると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「だいたい行われていると思う」が 50.0%で、「十分に行われていると思う」と合わせると6割以上がPRできていると感じています。

「その他」としては、「自身は知らなかったが、親は知っていた」「単身世帯周辺が汚い」などがあげられています。



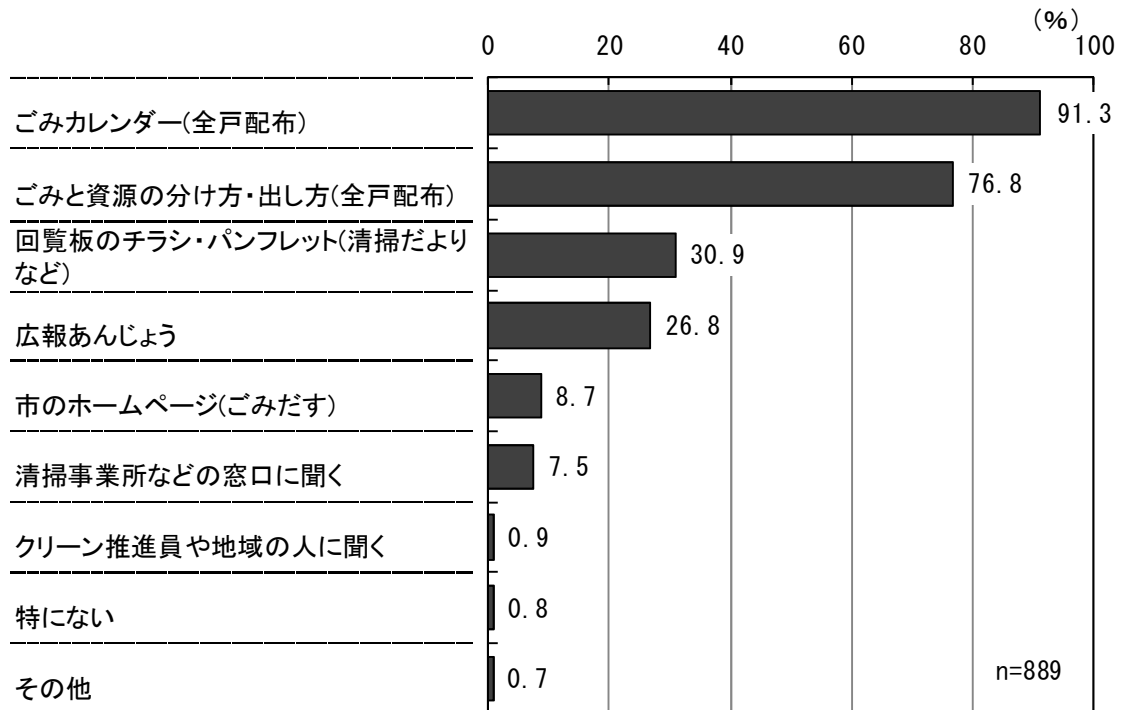
選択肢	件数	%
十分に行われていると思う	136	15.4
だいたい行われていると思う	442	50.0
まだ不十分であると思う	214	24.2
全く行われていないと思う	15	1.7
わからない	72	8.1
その他	5	0.6
未回答	10	—
サンプル数	894	884

問20 ごみに関する情報の入手方法について

あなたが、ごみ出しやごみの分別の仕方等、市のごみに関する事業の情報を入手する方法は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

ほとんどの市民が、全戸配布している「ごみカレンダー」と「ごみと資源の分け方・出し方」を利用しています。

「その他」としては、「他人に聞く」、「電話をして聞く」があげられています。



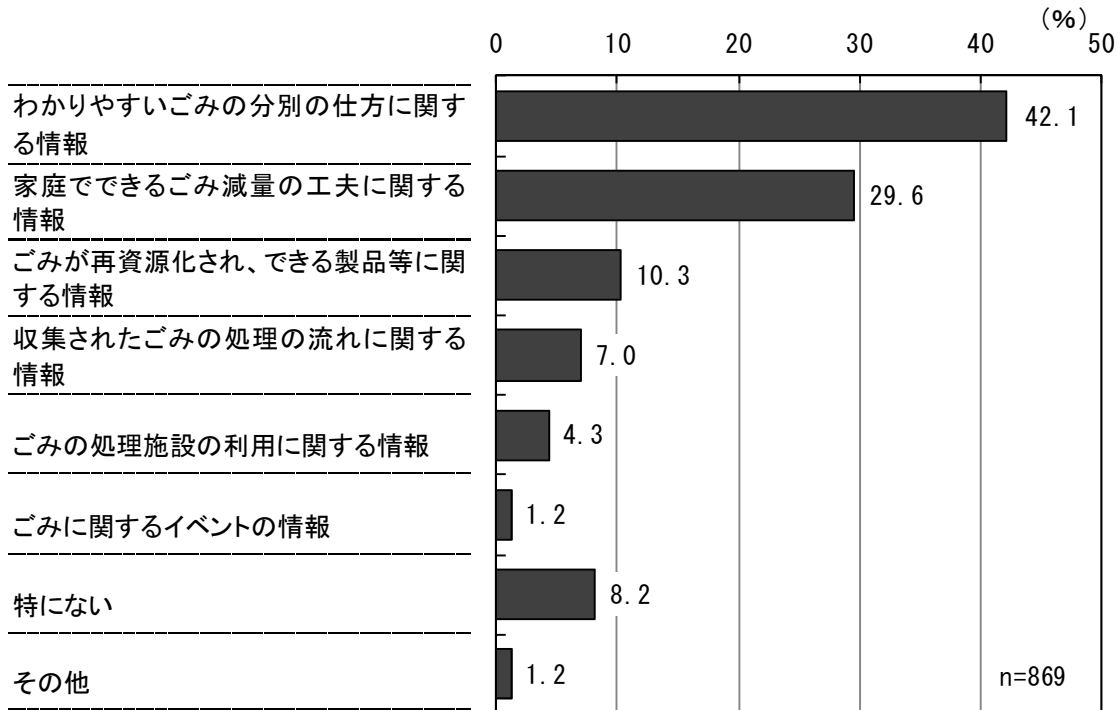
選択肢	件数	%
ごみカレンダー（全戸配布）	812	91.3
ごみと資源の分け方・出し方（全戸配布）	683	76.8
回覧板のチラシ・パンフレット（清掃だよりなど）	275	30.9
広報あんじょう	238	26.8
市のホームページ（ごみだす）	77	8.7
清掃事業所など市の窓口に聞く	67	7.5
クリーン推進員や地域の人に聞く	8	0.9
特にない	7	0.8
その他	6	0.7
未回答	5	—
サンプル数	894	889

問21 ごみの減量化やリサイクルに必要な情報について

ごみの減量化やリサイクルを進めるため、あなたが最もほしい情報は何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。

分別の仕方や、ごみ減量や分別したごみの行方等に関する情報が必要とされています。

「その他」としては、「一般家庭で出たごみがどのくらい再利用されているのか知りたい」「リサイクルショップ等の詳しい情報」などがあげられています。

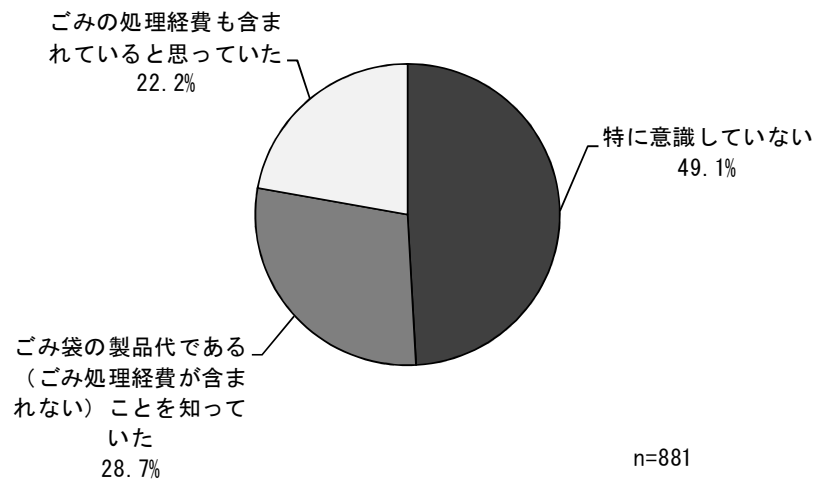


選択肢	件数	%
わかりやすいごみの分別の仕方に関する情報	376	42.1
家庭でできるごみ減量の工夫に関する情報	265	29.6
ごみが再資源化され、できる製品等に関する情報	92	10.3
収集されたごみの処理の流れに関する情報	63	7.0
ごみの処理施設の利用に関する情報	38	4.3
ごみに関するイベントの情報	11	1.2
特にない	73	8.2
その他	11	1.2
未回答	25	—
サンプル数	894	869

問22 指定袋について

燃やせるごみ・プラスチック製容器包装については、指定袋による排出をお願いしています。現在販売している指定袋の価格は、袋の製造・販売に係る経費から決まる製品代で、ごみ処理経費などは加算されていません。指定袋について、あなたの認識に最も近いものを1つだけ選んでください。

半数近くが「特に意識していない」と回答しています。次いで、「ごみ袋の製品代である（ごみ処理経費が含まれない）ことを知っていた」「ごみの処理経費も含まれていると思っていた」となっています。



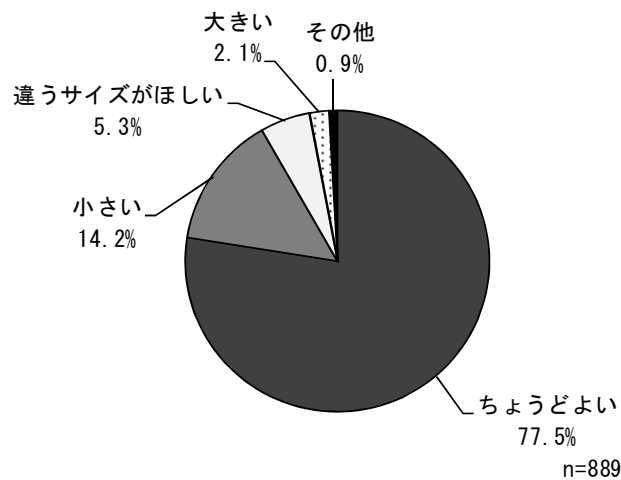
選択肢	件数	%
特に意識していない	432	49.1
ごみ袋の製品代である（ごみ処理経費が含まれない）ことを知っていた	253	28.7
ごみの処理経費も含まれていると思っていた	196	22.2
未回答	13	—
サンプル数	894	881

問23 指定袋の大きさについて

現在販売している燃やせるごみの指定袋は、35ℓ、20ℓ、10ℓの3種類です。販売している袋の大きさは、あなたの生活にあっていますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「ちょうどよい」が 77.5%で最も多く、次いで「小さい」「違うサイズがほしい」となっています。

意見としてあげられていたのは、「以前使っていた 45 ℓがよい」、「燃やせるごみ袋は良いが、燃やせないごみ袋はもっと大きくして欲しい」などがあげられています。

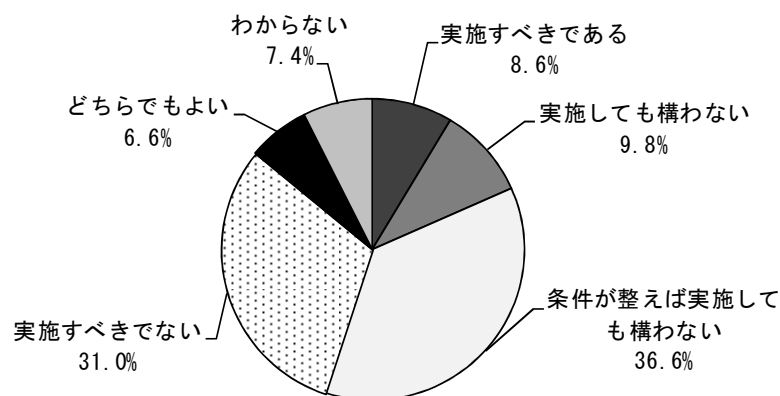


選択肢	件数	%
ちょうどよい	689	77.5
小さい	126	14.2
違うサイズがほしい	47	5.3
大きい	19	2.1
その他	8	0.9
未回答	5	—
サンプル数	894	889

問24 家庭ごみの有料化について

家庭ごみの有料化は、ごみ減量とリサイクル促進に効果があるため、全国的に広がっています。（家庭ごみの有料化とは、ごみ袋の価格にごみの処理費用の一部を加算することで、ごみ（袋）を多く出す人に多くの費用を負担していただく方式のことをいいます。）家庭ごみの有料化について、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「条件が整えば実施しても構わない」が最も多く、「実施すべきである」と「実施しても構わない」を含めると半数強が有料化に前向きです。しかし、「実施すべきでない」との意見も31%あります。



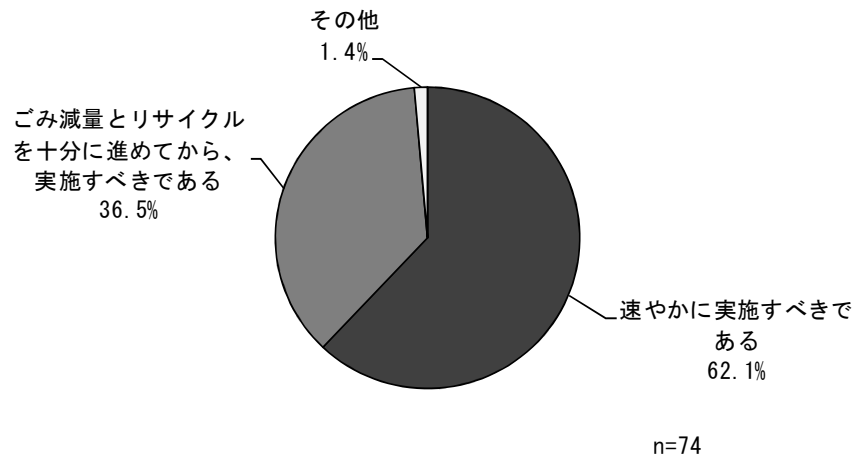
n=882

選択肢	件数	%
実施すべきである	76	8.6
実施しても構わない	86	9.8
条件が整えば実施しても構わない	324	36.6
実施すべきでない	273	31.0
どちらでもよい	58	6.6
わからない	65	7.4
未回答	12	—
サンプル数	894	882

問25 家庭ごみの有料化の実施時期について

（問24で1と答えた人のみ）家庭ごみの有料化を実施する時期として、いつ頃が適当かお聞かせください。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「速やかに実施すべきである」が最も多く 62.1%となっていますが、「ごみの減量とリサイクルを十分に進めてから、実施すべきである」という意見も4割近くあります。



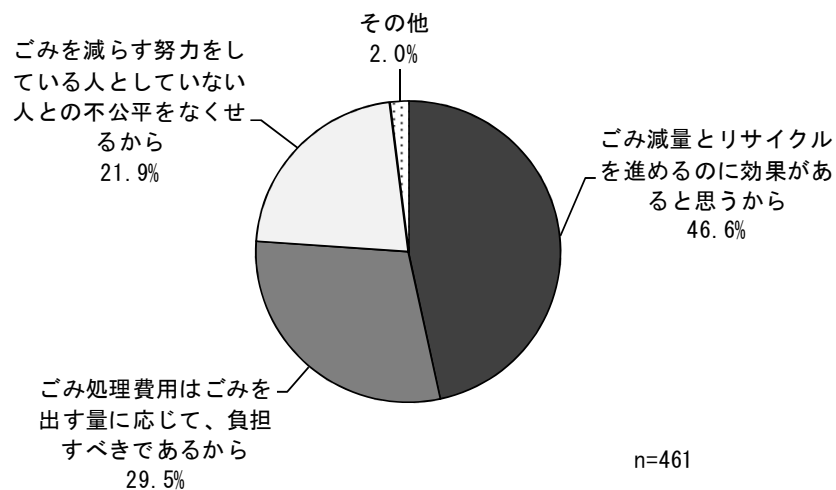
選択肢	件数	%
速やかに実施すべきである	46	62.1
ごみ減量とリサイクルを十分に進めてから、実施すべきである	27	36.5
その他	1	1.4
未回答	2	—
サンプル数	76	74

問26 家庭ごみの有料化を実施すべき・実施しても構わない理由について

(問24で1,2,3と答えた人のみ) 家庭ごみの有料化を実施すべき・実施しても構わない理由をお聞かせください。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「ごみ減量とリサイクルを進めるのに効果があると思うから」が最も多く、その他、費用負担や努力への不公平感をなくすことを理由にあげています。

「その他」としては、「有料化が仕方ない状況であることが理解出来るから」、「将来の子供達のために税金を有効に使って欲しいから」などがあげられています。



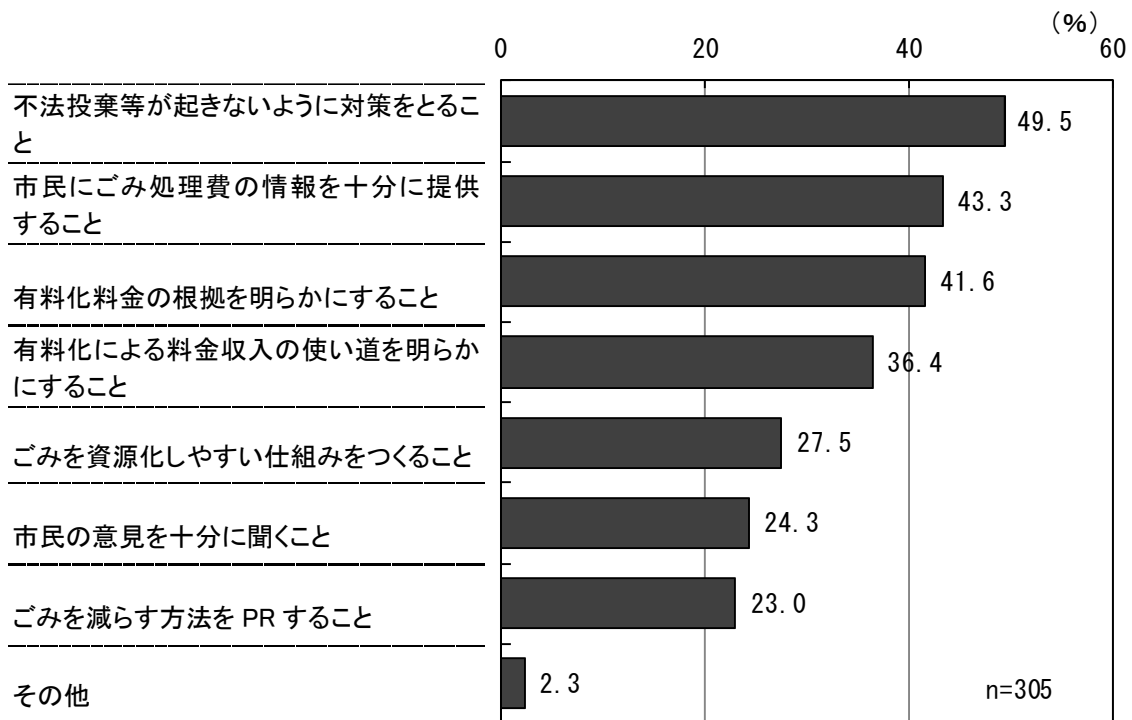
選択肢	件数	%
ごみ減量とリサイクルを進めるのに効果があると思うから	215	46.6
ごみ処理費用はごみを出す量に応じて、負担すべきであるから	136	29.5
ごみを減らす努力をしている人としていない人との不公平をなくせるから	101	21.9
その他	9	2.0
未回答	25	—
サンプル数	486	461

問27 家庭ごみの有料化に必要な条件について

(問24で3と答えた人のみ) あなたが、家庭ごみの有料化に必要と考える条件は何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つまで選んでください。

「不法投棄等が起きないように対策をとること」のほか、処理費用や有料化による収入の情報開示が条件として求められています。

「その他」としては、「不公平のない有料化を目指してほしい」、「低所得者への配慮は必須」、「ごみを出さない方法を考えるべきでは」などがあげられています。



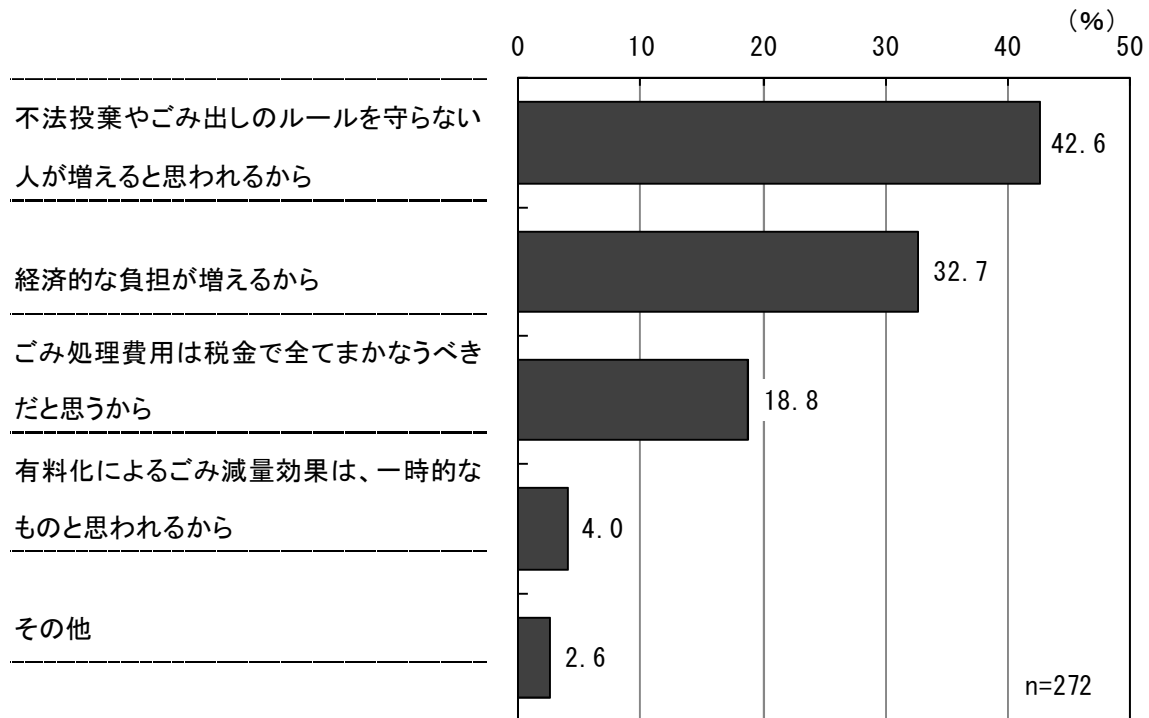
選択肢	件数	%
不法投棄等が起きないように対策をとること	151	49.5
市民にごみ処理費の情報を十分に提供すること	132	43.3
有料化料金の根拠を明らかにすること	127	41.6
有料化による料金収入の使い道を明らかにすること	111	36.4
ごみを資源化しやすい仕組みをつくること	84	27.5
市民の意見を十分に聞くこと	74	24.3
ごみを減らす方法をPRすること	70	23.0
その他	7	2.3
未回答	19	—
サンプル数	324	305

問28 家庭ごみの有料化を実施すべきでない理由について

（問24で4と答えた人のみ）家庭ごみの有料化を実施すべきでない理由をお聞かせください。あなたの考えに近いものを選んでください。

「不法投棄やごみ出しのルールを守らない人が増えると思われるから」と、費用負担に関する疑問が大半を占めています。

「その他」としては、「畑や庭などでごみを燃やす人が増える」、「企業のごみ処理費用を増やすべき」などがあげられています。



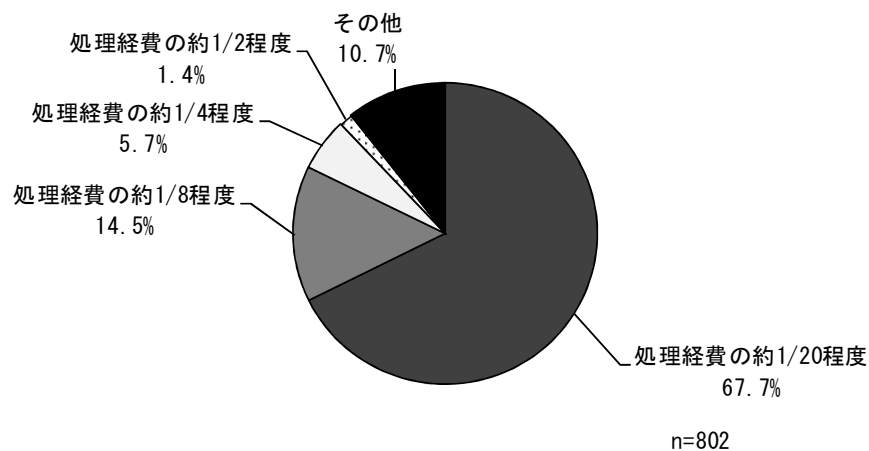
選択肢	件数	%
不法投棄やごみ出しのルールを守らない人が増えると思われるから	116	42.6
経済的な負担が増えるから	89	32.7
ごみ処理費用は税金で全てまかなうべきだと思うから	51	18.8
有料化によるごみ減量効果は、一時的なものと思われるから	11	4.0
その他	7	2.6
未回答	1	—
サンプル数	273	272

問29 家庭ごみの有料化をした場合の負担額について

現在、ごみ処理に係る経費は1人当たりで年間約14,000円であり、再資源化（リサイクル）できるごみを除くごみの処理には、単純に計算すると1kgあたり約40円の処理経費がかかっています。家庭ごみの有料化を実施する場合、指定袋の価格（製品代）に処理経費を加算する方法が考えられますが、どの程度の金額まで負担してもよいかをお聞かせください。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

「処理経費の約1/20程度」が67.7%でした。

「その他」としては、「有料化すべきでない」、「現状のままで良い」、「段階的に加算する」、「処理経費100%負担」などがあげられています。



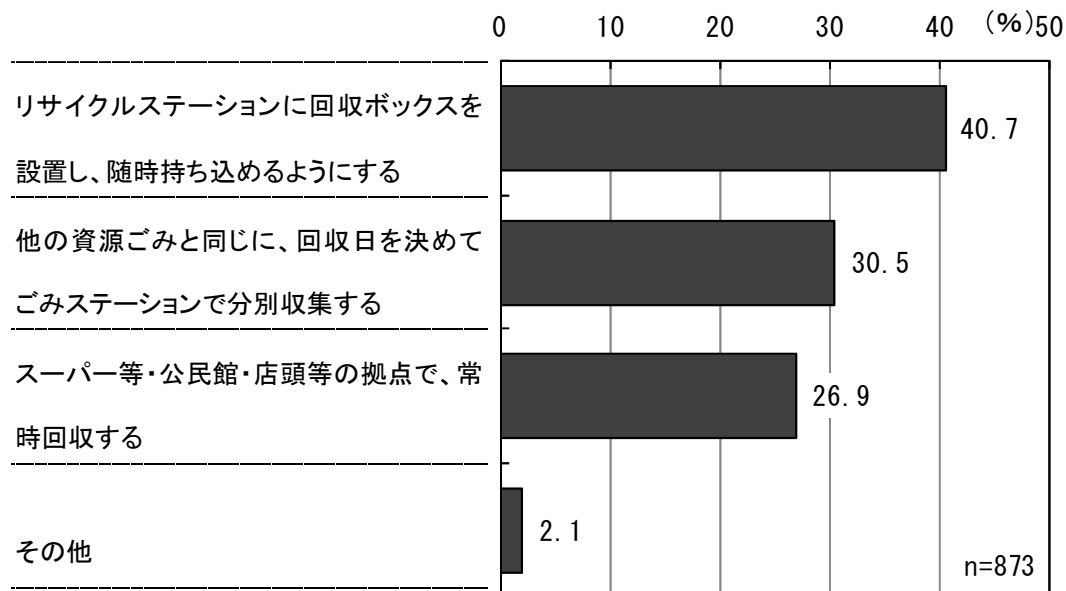
選択肢	件数	%
処理経費の約1/20程度（燃やせるごみ袋35Lの場合で、約20円／枚を加算）	543	67.7
処理経費の約1/8程度（燃やせるごみ袋35Lの場合で、約50円／枚を加算）	116	14.5
処理経費の約1/4程度（燃やせるごみ袋35Lの場合で、約100円／枚を加算）	46	5.7
処理経費の約1/2程度（燃やせるごみ袋35Lの場合で、約200円／枚を加算）	11	1.4
その他	86	10.7
未回答	92	—
サンプル数	894	802

問30 小型家電製品について

携帯電話、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、音楽プレーヤー、ビデオデッキ、電子辞書、ファクシミリ、ゲーム機などの小型家電製品には、希少金属（レアメタル）をはじめとしてさまざまな金属が使われています。使用済みになったこれらの小型家電製品を不燃ごみとしないで、資源として回収することで、貴重な資源のリサイクルができます。小型家電製品を回収する方法として、どのような方法が良いと思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

「リサイクルステーションに回収ボックス設置し、随時持ち込めるようにする」が40.7%、次いで「他の資源ごみと同じに、回収日を決めてごみステーションで分別収集する」が30.5%、「スーパー等・公民館・店頭等の拠点で、常時回収する」は26.9%です。

「その他」としては、「個人情報务必消去することが大切」、「製造元で買取り」、「どのどんな商品にレアメタル等があるのか詳しく知りたい」などがあげられています。

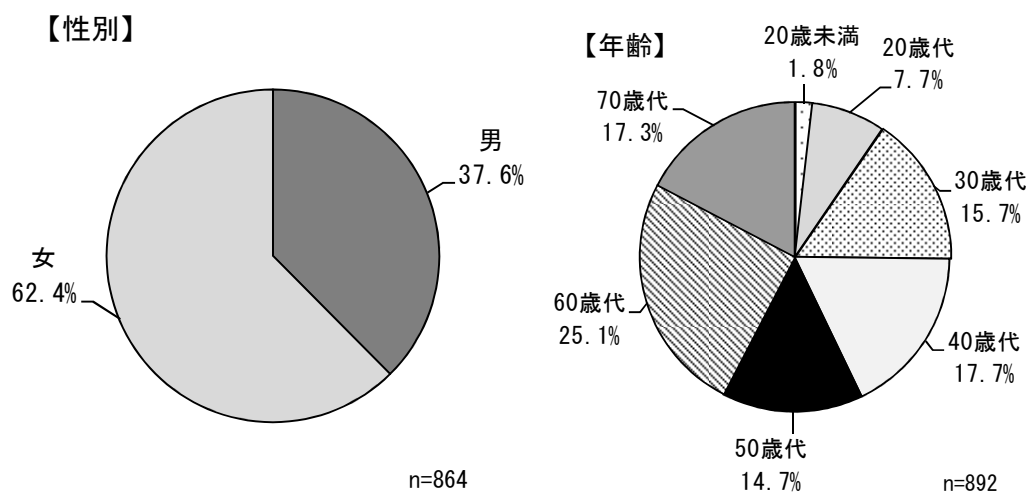


選択肢	件数	%
リサイクルステーションに回収ボックスを設置し、随時持ち込めるようにする	355	40.7
他の資源ごみと同じに、回収日を決めてごみステーションで分別収集する	266	30.5
スーパー等・公民館・店頭等の拠点で、常時回収する	235	26.9
その他	18	2.1
未回答	21	—
サンプル数	894	873

意見の概要

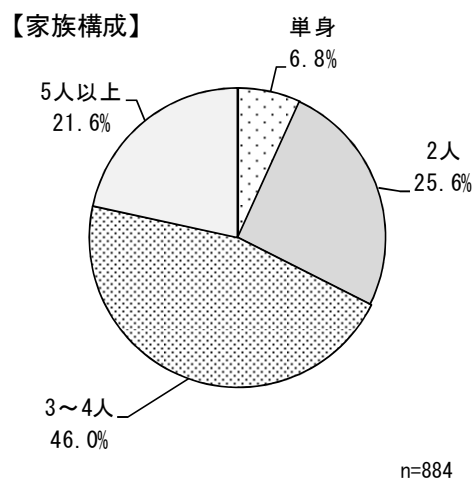
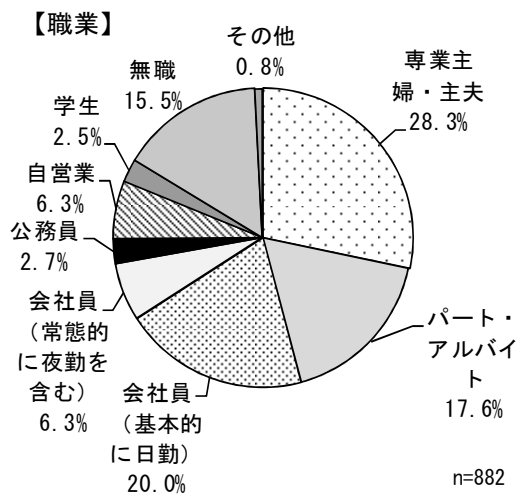
- 何に分別されるものか資料に載っていないことが多い
- 子供のおもちゃ(プラスチック)等の分別が難しい
- 夏場は燃やせるごみの収集を増やして欲しい
- 窓口に分別方法を尋ねても分かっていない人がいて困る
- 家族内で分別に詳しいのは母親のみ。家族みんなでごみに興味を持った方がいい
- 分別している意味があるのか疑問。もっとリサイクル情報が欲しい
- ごみステーションでペットボトルの回収もして欲しい
- リサイクルステーションに資源ごみを持ち込むとポイントが貯まると嬉しい
- 市のリサイクルステーションの職員の態度が悪く気分が悪くなった
- 戸別収集の方が責任を持ってごみを出すようになると思う
- 集合住宅の住人のごみに対する意識が低い人が多い
- カラス除けネットをしてもきちんとかけない人がいるので意味がない
- ごみ出し時間を守らない人がいて、缶やびんをかごに入れる音で早朝目がさめる
- 通勤途中に車から捨てていくごみの分別が悪い
- 外国人でごみ出しルールを守らない人が多い。言葉が通じないので困っている
- ごみ袋が小さい。以前使っていた 45 ㍓があると便利
- ごみ袋が丸めた束上で売られているが 1 枚ずつ取りづらい
- ごみ袋に個別番号を書いて出す
- ごみ袋に名前を書くルールを守っている人は一部。書いていない場合は収集しないようにしてほしい
- 分別はしたいが、各々のごみ箱を置くスペースがない
- 有料化も構わないが、不法投棄やゴミ屋敷が増えてしまっでは意味がない
- 集合住宅に数台生ごみ処理機を設置できたらよい
- 田畑が多い地域でごみを燃す人が多い。有料化になったらもっと増える
- スーパーなどでの、マイタッパー化。
- 容器包装はどのくらいまで洗えばいいのかわからない
- プラスチックを出すのに水で洗って汚れを落とすのは環境に悪いと思う
- 車の運転が出来なくなった時のことを考えると不安。リサイクルセンターに行けない
- ごみ袋に値段を付けるのではなく、商品購入時にごみ処理費を計上して販売すれば良い
- ごみについての教育を子供の内からしっかりと行うべき
- 市民だけでなく、企業側もごみ減量意識を高めることが必要

回答者の属性について



選択肢	件数	%
男	325	37.6
女	539	62.4
未回答	30	—
サンプル数	894	864

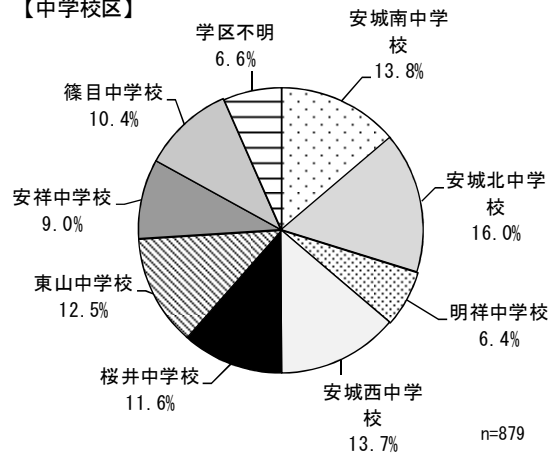
選択肢	件数	%
20歳未満	16	1.8
20歳代	69	7.7
30歳代	140	15.7
40歳代	158	17.7
50歳代	131	14.7
60歳代	224	25.1
70歳代	154	17.3
未回答	2	—
サンプル数	894	892



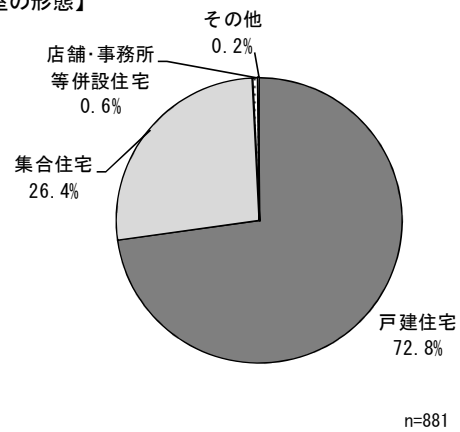
選択肢	件数	%
専業主婦・主夫	249	28.3
パート・アルバイト	155	17.6
会社員（基本的に日勤）	176	20.0
会社員（常態的に夜勤を含む）	56	6.3
公務員	24	2.7
自営業	56	6.3
学生	22	2.5
無職	137	15.5
その他	7	0.8
未回答	12	—
サンプル数	894	882

選択肢	件数	%
単身	60	6.8
2人	226	25.6
3～4人	407	46.0
5人以上	191	21.6
未回答	10	—
サンプル数	894	884

【中学校区】

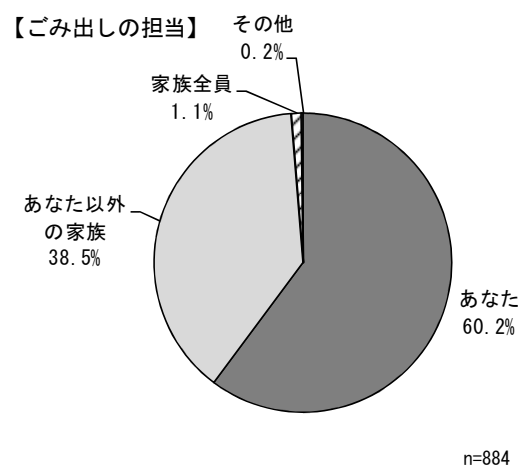


【家屋の形態】



選択肢	件数	%
安城南中学校	122	13.8
安城北中学校	141	16.0
明祥中学校	56	6.4
安城西中学校	120	13.7
桜井中学校	102	11.6
東山中学校	110	12.5
安祥中学校	79	9.0
篠目中学校	91	10.4
学区不明	58	6.6
未回答	15	—
サンプル数	894	879

選択肢	件数	%
戸建住宅	641	72.8
集合住宅	233	26.4
店舗・事務所等併設住宅	5	0.6
その他	2	0.2
未回答	13	—
サンプル数	894	881



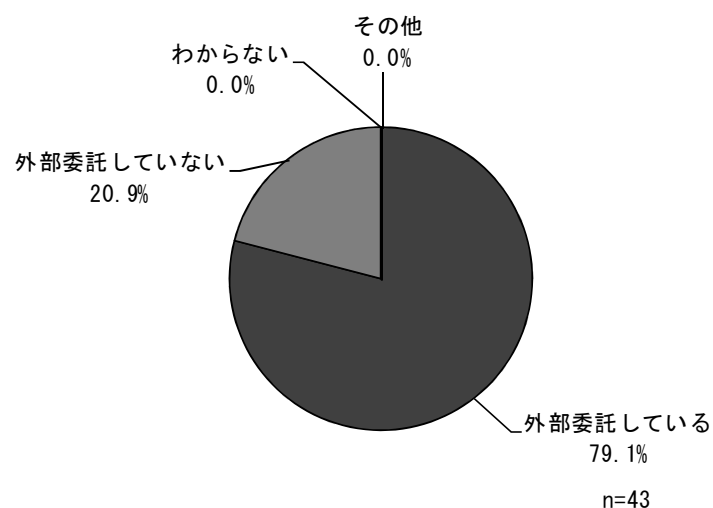
選択肢	件数	%
あなた	532	60.2
あなた以外の家族	340	38.5
家族全員	10	1.1
その他	2	0.2
未回答	10	—
サンプル数	894	884

(2) 事業者

問1 廃棄物収集の外部委託について

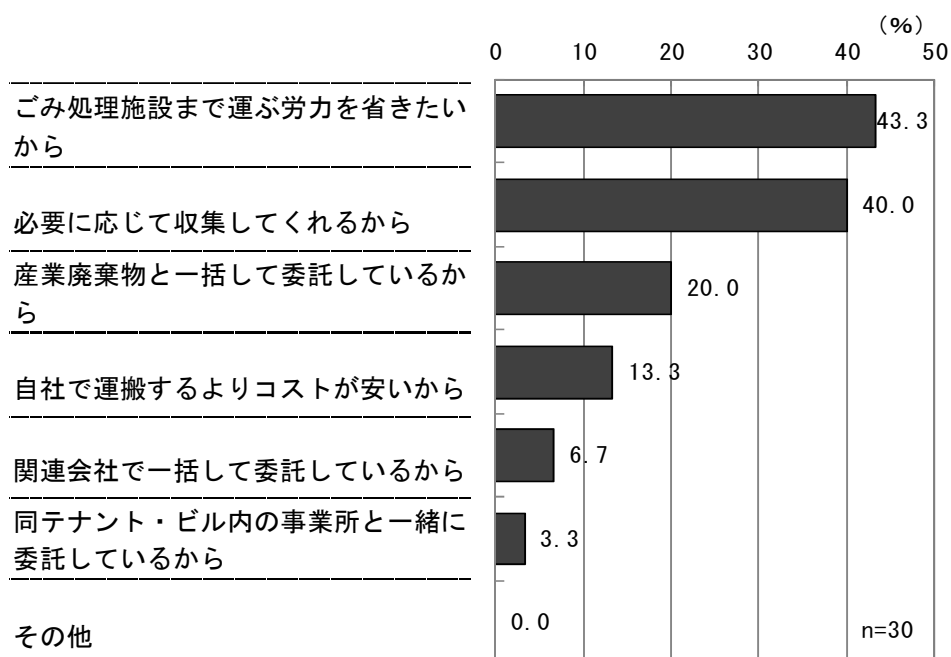
貴事業所では、一般廃棄物の収集を外部へ委託していますか。該当するものを 1つだけ 選び、番号を○で囲んでください。

「外部委託している」が79.1%です。



選択肢	件数	%
外部委託している	34	79.1
外部委託していない	9	20.9
わからない	0	0.0
その他	0	0.0
未回答	0	—
サンプル数	43	43

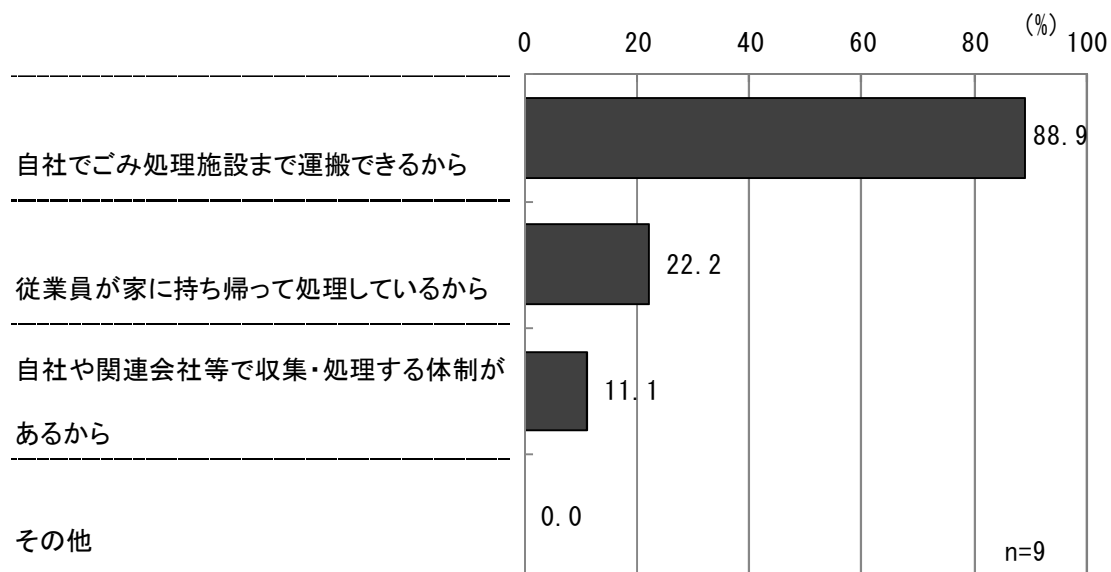
「外部委託している」理由は、「ごみ処理施設まで運ぶ労力を省きたいから」が43.3%で、その他は収集してもらう利便性や、一括委託していることをあげています。



選択肢	件数	%
ごみ処理施設まで運ぶ労力を省きたいから	13	43.3
必要に応じて収集してくれるから	12	40.0
産業廃棄物と一括して委託しているから	6	20.0
自社で運搬するよりコストが安いから	4	13.3
関連会社で一括して委託しているから	2	6.7
同テナント・ビル内の事業所と一緒に委託しているから	1	3.3
その他	0	0.0
未回答	4	—
サンプル数	34	30

「外部委託していない」理由は、「自社でゴミ処理施設まで運搬できるから」が9割近く占めています。

次に「従業員が家に持ち帰って処理しているから」、「自社や関連会社等で収集・処理する体制があるから」の順となっています。



選択肢	件数	%
自社でゴミ処理施設まで運搬できるから	8	88.9
従業員が家に持ち帰って処理しているから	2	22.2
自社や関連会社等で収集・処理する体制があるから	1	11.1
その他	0	0.0
未回答	0	—
サンプル数	9	9

問2 廃棄物の発生量について

貴事業所で発生する廃棄物量とその内訳をお聞きます。おおよそで結構ですのでお答えください。（産業廃棄物とは、廃棄物処理法第2条第4項に定められた、事業活動に伴って生じる廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類などその他政令で定めるもののことをいいます。）

廃棄物の発生量は、事業所によって数 kg から数百 t までの大きな幅がありました。

		一般廃棄物			産業廃棄物	単位
		可燃ごみ	不燃ごみ	資源物		
発生量合計		154	21	190	240	t / 年
		—	—	—	165	L / 年
	最小値	0.01	0.20	0.10	0.04	t / 年
	最大値	46	6	98	106	t / 年
1事業所当たり発生量		6.7	1.3	9.5	24.0	t / 年
		—	—	—	54.9	L / 年
有効回答数		23	16	20	12	件

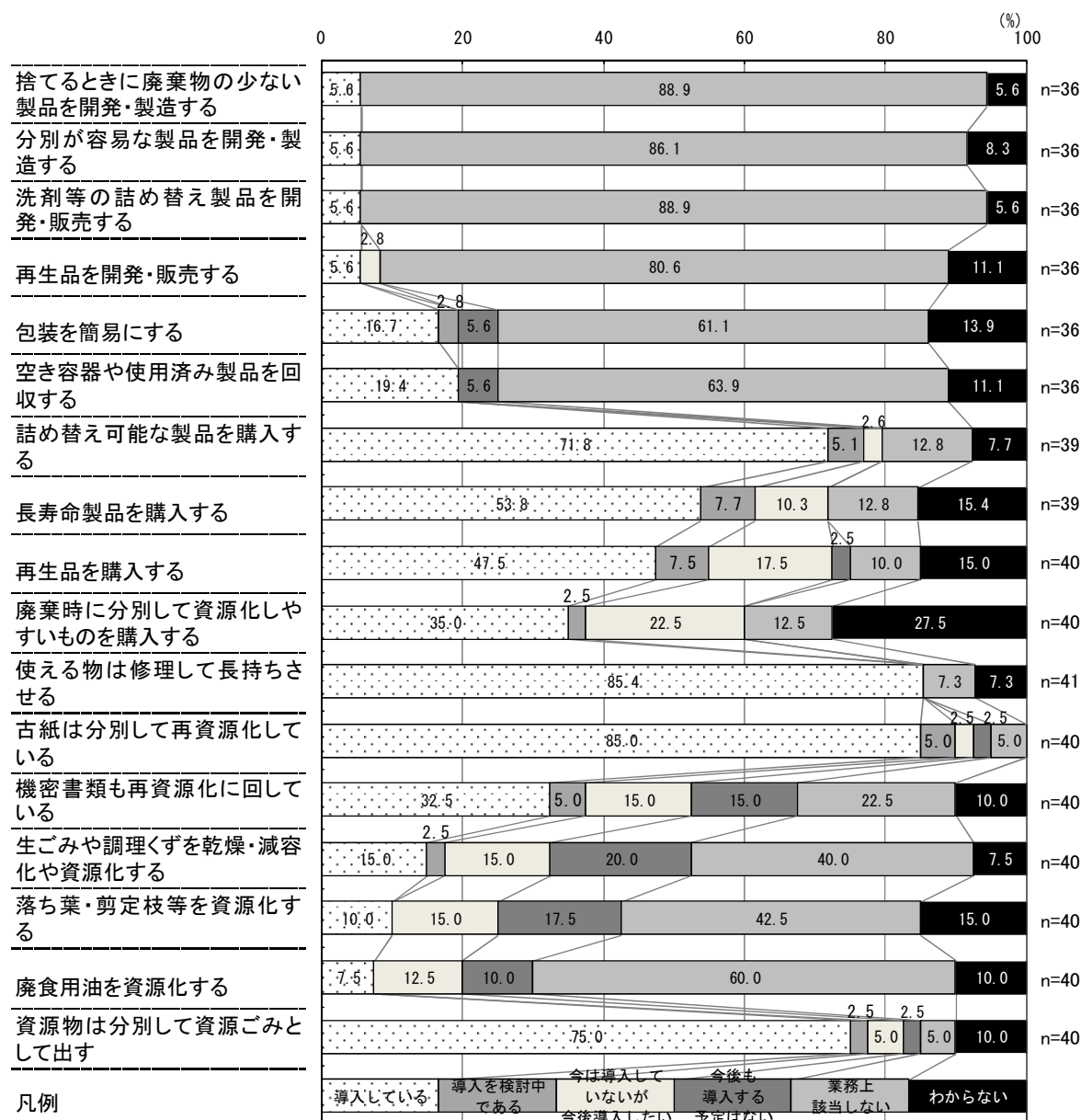
注)最小値は廃棄物が発生した場合を対象としたので、0は除いている。

問3 事業活動におけるごみ減量化について

(1) 貴事業所で行なっているごみ減量化の取り組みについてお聞きします。それぞれの取り組みについて、該当するものを1つずつ選び、番号を○で囲んでください。

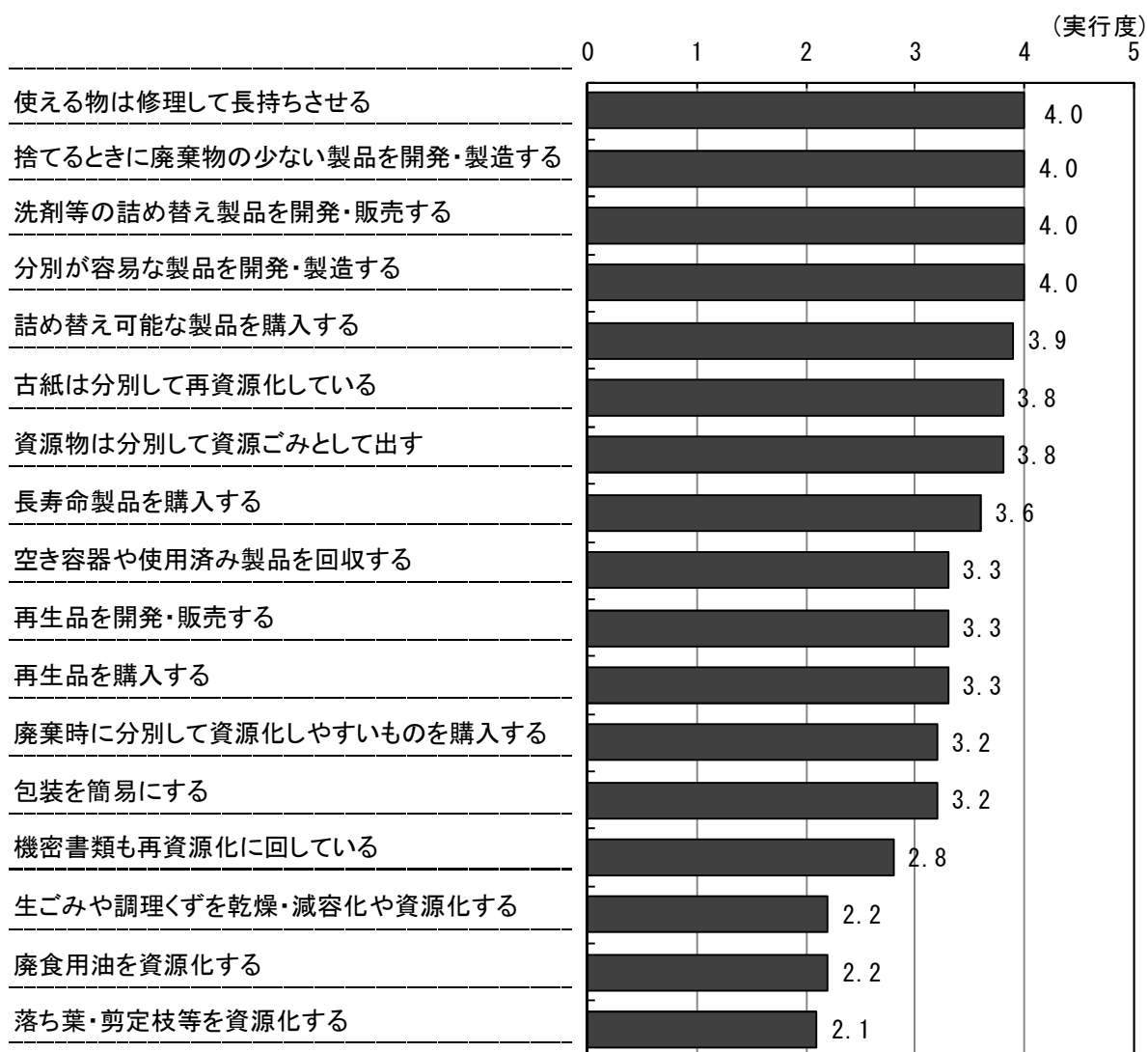
「導入している」取り組みで多いのは、古紙等の資源の分別・資源化、修理し長持ちさせること、環境負荷の少ない製品の購入などがあげられています。

「今後も導入しない」取り組みで多いのは、機密書類の再資源化のほか、落ち葉・剪定枝等、生ごみや調理くず、廃食用油等の有機物の資源化などがあげられています。



実行度を見ると、修理し長持ちさせること、資源化、環境負荷の少ない製品の購入などが高くなっています。

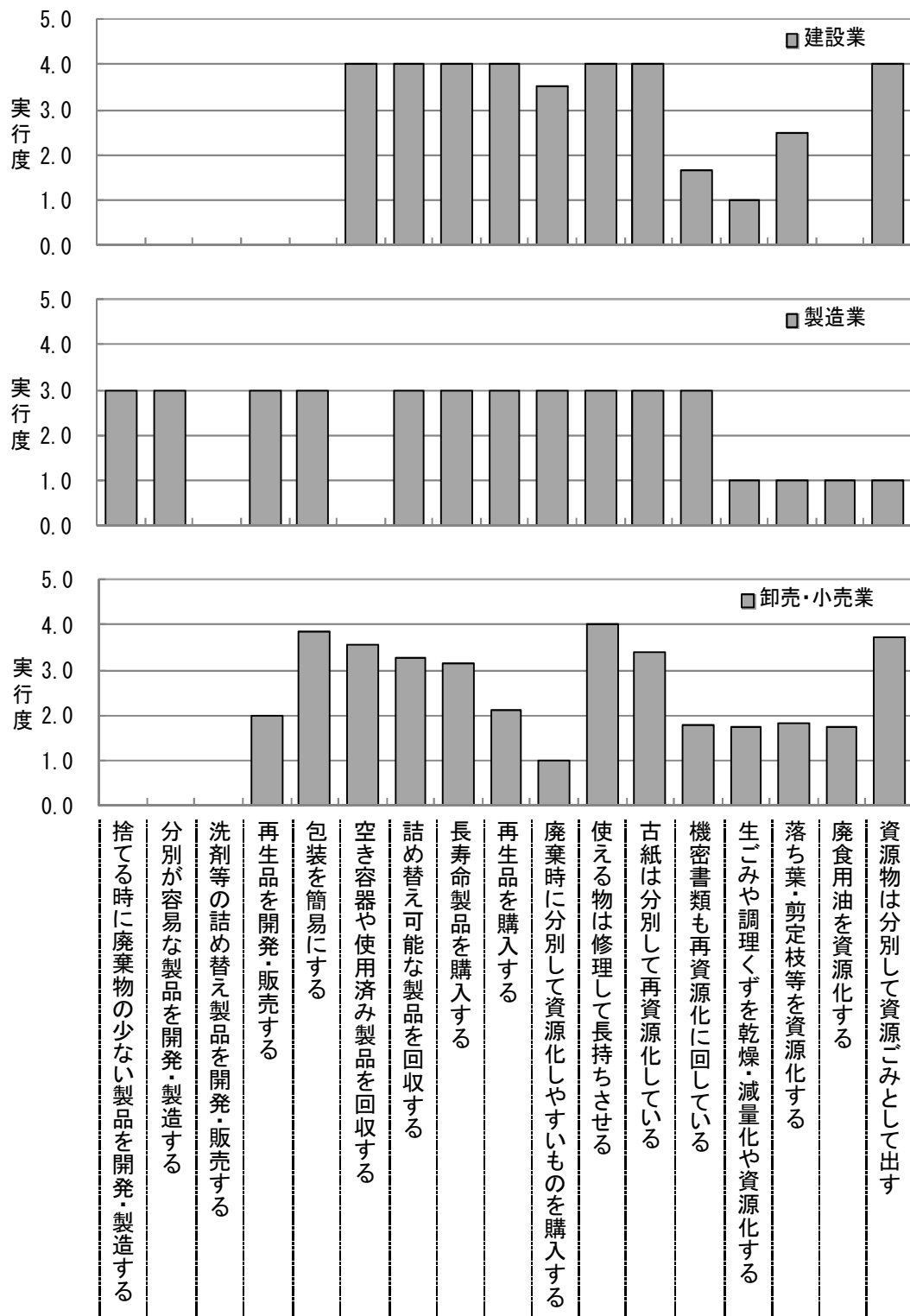
落ち葉・剪定枝等、生ごみや調理くず、廃食用油等の有機物の資源化の実行度は低くなっています。



※実行度＝{ (「導入している」回答数) × 4 + (「導入を検討中である」回答数) × 3
 + (「今は導入していないが今後導入したい」回答数) × 2
 + (「今後も導入する予定はない」回答数) × 1 }
 ÷ {有効回答数 - (「業務上該当しない」回答数) - (「わからない」回答数)}
 として算出した。

(上段:件数、下段:%)

	合計	導入している	導入を検討中である	今は導入していないが今後導入したい	今後も導入する予定はない	業務上該当しない	わからない	実行度
捨てるときに廃棄物の少ない製品を開発・製造する	36 100	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 88.9	2 5.6	4.0
分別が容易な製品を開発・製造する	36 100	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 86.1	3 8.3	4.0
洗剤等の詰め替え製品を開発・販売する	36 100	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 88.9	2 5.6	4.0
再生品を開発・販売する	36 100	2 5.6	0 0.0	1 2.8	0 0.0	29 80.6	4 11.1	3.3
包装を簡易にする	36 100	6 16.7	1 2.8	0 0.0	2 5.6	22 61.1	5 13.9	3.2
空き容器や使用済み製品を回収する	36 100	7 19.4	0 0.0	0 0.0	2 5.6	23 63.9	4 11.1	3.3
詰め替え可能な製品を購入する	39 100	28 71.8	2 5.1	1 2.6	0 0.0	5 12.8	3 7.7	3.9
長寿命製品を購入する	39 100	21 53.8	3 7.7	4 10.3	0 0.0	5 12.8	6 15.4	3.6
再生品を購入する	40 100	19 47.5	3 7.5	7 17.5	1 2.5	4 10.0	6 15.0	3.3
廃棄時に分別して資源化しやすいものを購入する	40 100	14 35.0	1 2.5	9 22.5	0 0.0	5 12.5	11 27.5	3.2
使える物は修理して長持ちさせる	41 100	35 85.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.3	3 7.3	4.0
古紙は分別して再資源化している	40 100	34 85.0	2 5.0	1 2.5	1 2.5	2 5.0	0 0.0	3.8
機密書類も再資源化に回している	40 100	13 32.5	2 5.0	6 15.0	6 15.0	9 22.5	4 10.0	2.8
生ごみや調理くずを乾燥・減容化や資源化する	40 100	6 15.0	1 2.5	6 15.0	8 20.0	16 40.0	3 7.5	2.2
落ち葉・剪定枝等を資源化する	40 100	4 10.0	0 0.0	6 15.0	7 17.5	17 42.5	6 15.0	2.1
廃食用油を資源化する	40 100	3 7.5	0 0.0	5 12.5	4 10.0	24 60.0	4 10.0	2.2
資源物は分別して資源ごみとして出す	40 100	30 75.0	1 2.5	2 5.0	1 2.5	2 5.0	4 10.0	3.8

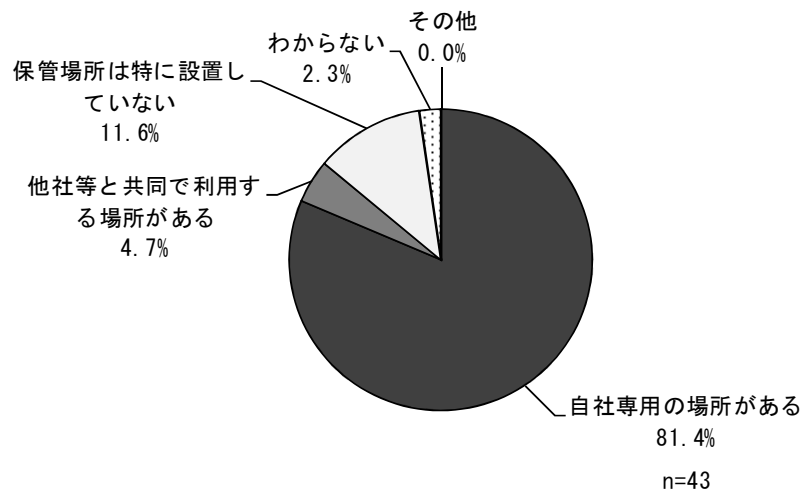


問4 ごみや資源物の保管場所について

(1)ごみや資源物の保管場所の有無

貴事業所にごみや資源物の保管場所はありますか。該当するものを 1 つだけ選び、番号を○で囲んでください。

自社専用・共同を合わせて 86.1%の事業所が保管場所を確保しています。一方、「保管場所は特に設置していない」事業所も 11.6%あります。



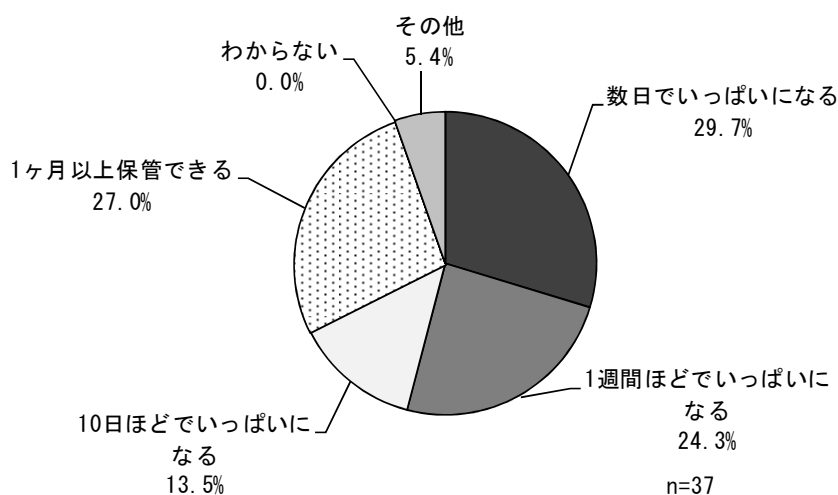
選択肢	件数	%
自社専用の場所がある	35	81.4
他社等と共同で利用する場所がある	2	4.7
保管場所は特に設置していない	5	11.6
わからない	1	2.3
その他	0	0.0
未回答	0	—
サンプル数	43	43

(2)保管場所の広さ

(1)で 1,2 を選択した事業所についてお聞きします。貴事業所のごみや資源物の保管場所の広さは、どの程度ですか。該当するものを 1 つだけ 選び、番号を○で囲んでください。

「数日でいっぱいになる」が 34.4%、次いで「1 週間ほどでいっぱいになる」が 28.1% となっています。

「その他」としては、「いっぱいになる前に回収する」、「3 週間程度保管できる」となっています。



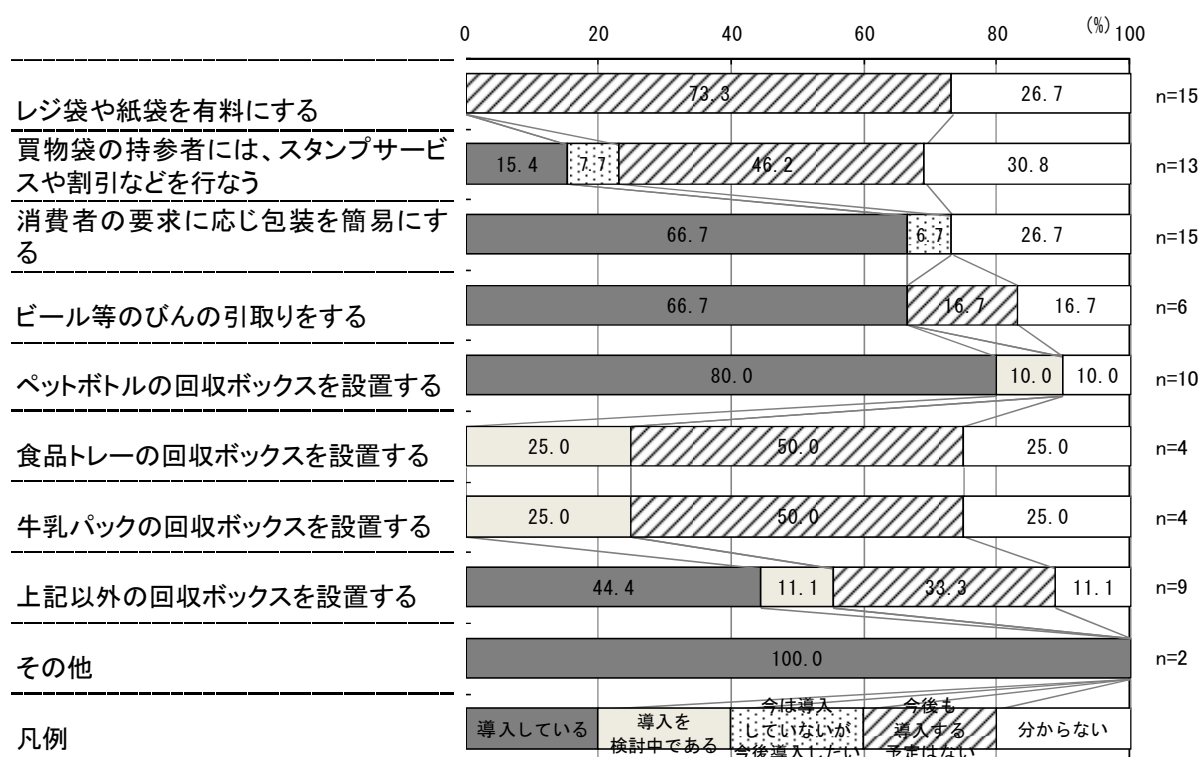
選択肢	件数	%
数日でいっぱいになる	11	29.7
1週間ほどでいっぱいになる	9	24.3
10日ほどでいっぱいになる	5	13.5
1ヶ月以上保管できる	10	27.0
わからない	0	0.0
その他	2	5.4
未回答	6	—
サンプル数	43	37

問5 一般消費者へのごみ減量化促進について

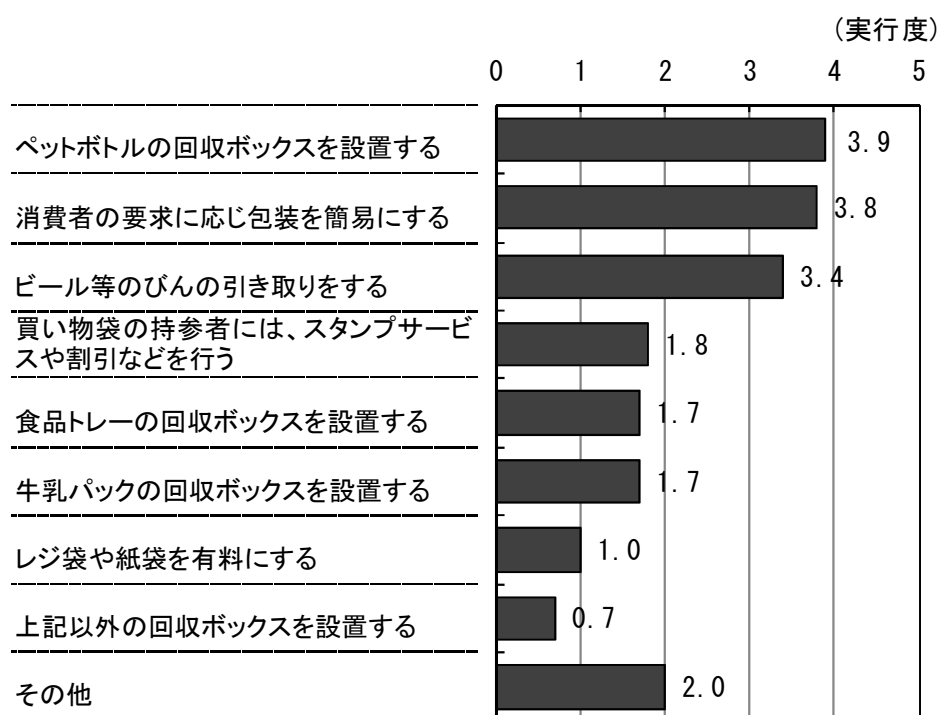
小売業の事業所に特にお聞きします。貴事業所が行っている一般消費者に対するごみ減量化促進のための取り組みについて、該当するものを1つずつ選び、番号を○で囲んでください。

導入している取り組みでは、回収ボックスの設置や簡易包装、リターンルびんの引き取りが主に行われています。

「その他」としては、「アルミ缶・スチール缶の回収」、「古紙回収を月1回行っている」があげられています。



実行度で見ると、何らかの資源の回収に取り組んでいます、レジ袋の有料化には消極的です。



※実行度＝{ (「導入している」回答数) × 4 + (「導入を検討中である」回答数) × 3
 + (「今は導入していないが今後導入したい」回答数) × 2
 + (「今後も導入する予定はない」回答数) × 1 }
 ÷ {有効回答数 - (「業務上該当しない」回答数) - (「わからない」回答数) }

として算出した。

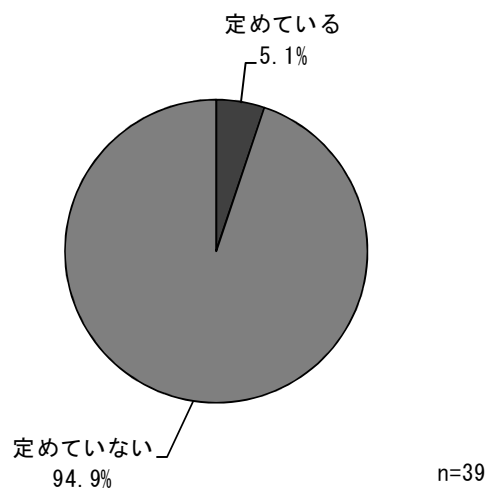
(上段:件数、下段:%)

	合計	導入している	導入を検討中である	今は導入していないが今後導入したい	今後も導入する予定はない	業務上該当しない	わからない	実行度
レジ袋や紙袋を有料にする	33 100.0	— 0.0	— —	— —	11 33.3	18 54.5	4 12.1	1.0
買物袋の持参者には、スタンプサービスや割引などを行なう	33 100.0	2 6.1	— —	1 3.0	6 18.2	20 60.6	4 12.1	1.8
消費者の要求に応じ包装を簡易にする	32 100.0	10 31.3	— —	1 3.1	— —	17 53	4 12.5	3.8
ビール等のびんの引き取りをする	32 100.0	4 12.5	— —	— —	1 3.1	26 81.3	1 3.1	3.4
ペットボトルの回収ボックスを設置する	33 100.0	8 24.2	1 3.0	— —	— —	23 69.7	1 3.0	3.9
食品トレーの回収ボックスを設置する	33.0 100.0	— —	1 3.0	— —	2 6.1	29 87.9	1 3.0	1.7
牛乳パックの回収ボックスを設置する	33.0 100.0	— —	1 3.0	— —	2 6.1	29 87.9	1 3.0	1.7
上記以外の回収ボックスを設置する	32 100.0	4 12.5	1 3.1	— —	3 9.4	23 71.9	1 3.1	2.4
その他	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	4.0

問6 廃棄物の目標値について

貴事業所から発生する廃棄物について、発生抑制、リサイクル等の目標値を定めているか記入してください。

発生抑制、リサイクル等の目標値を「定めていない」事業所がほとんどです。

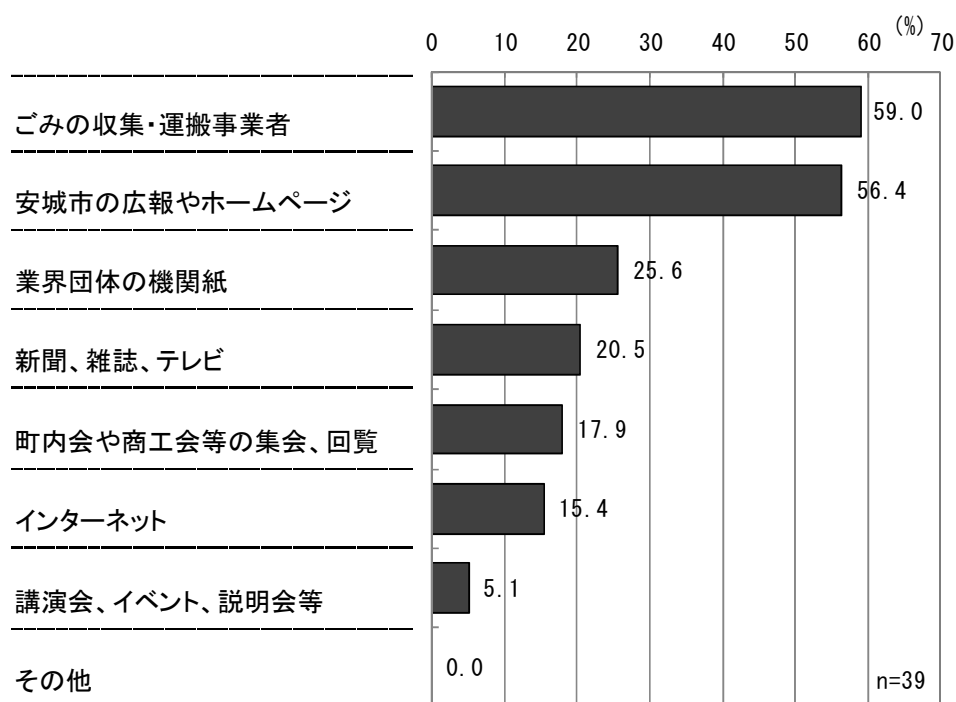


選択肢	件数	%
定めている	2	5.1
定めていない	37	94.9
未回答	4	—
サンプル数	43	39

問7 情報の入手方法について

貴事業所におけるごみ処理やリサイクルに関する情報の入手方法についてお聞きします。
該当するものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

「ごみの収集・運搬事業者」が最も多く、次いで「安城市の広報やホームページ」、「業界団体の機関紙」となっています。



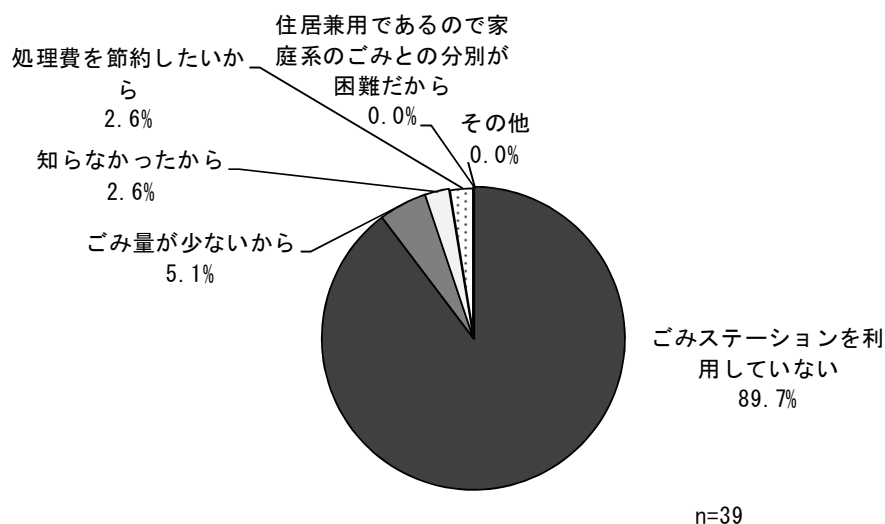
選択肢	件数	%
ごみの収集・運搬事業者	23	59.0
安城市の広報やホームページ	22	56.4
業界団体の機関紙	10	25.6
新聞、雑誌、テレビ	8	20.5
町内会や商工会等の集会、回覧	7	17.9
インターネット	6	15.4
講演会、イベント、説明会等	2	5.1
その他	0	0.0
未回答	4	—
サンプル数	43	39

問8 ごみステーションについて

安城市では、事業系の一般廃棄物をごみステーションに出すことはできません。貴事業所がごみステーションを利用している場合、その理由について最も近いものを1つだけ選び、番号を○で囲んでください。

89.7%が「ごみステーションを利用していない」と回答し、何らかの理由でごみステーションを利用している事業者は1割程度です。

利用している理由としては、少量であることが挙げられています。



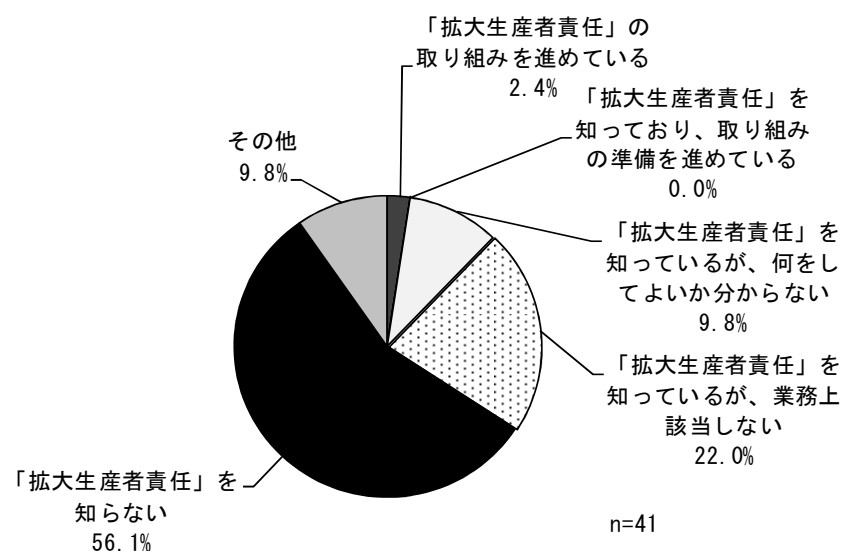
選択肢	件数	%
ごみステーションを利用していない	35	89.7
知っていたが、ごみ量が少ないから	2	5.1
知らなかったから	1	2.6
知っていたが、処理費を節約したいから	1	2.6
知っていたが、住居兼用であるので家庭系のごみとの分別が困難だから	0	0.0
その他	0	0.0
未回答	4	—
サンプル数	43	39

問9 拡大生産者責任について

貴事業所では拡大生産者責任について、取り組みを進めていますか。最も近いものを1つだけ選び、番号を○で囲んでください。

拡大生産者責任を知らない、あるいは知っているも業務上該当しないとの回答が約8割を占めており、『拡大生産者責任』を知っていて取り組みを進めているのは2.4%です。

「その他」としては、「拡大生産者責任を知らないし、業務上も該当しない」があげられています。

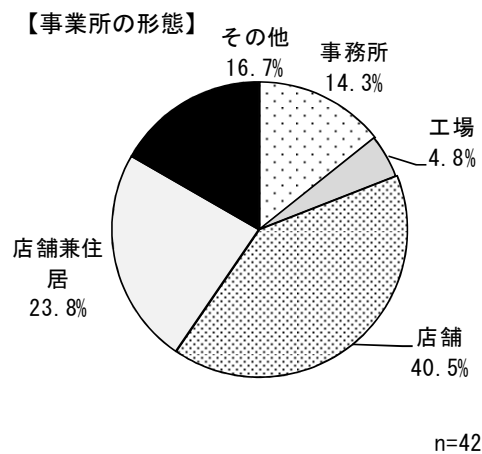
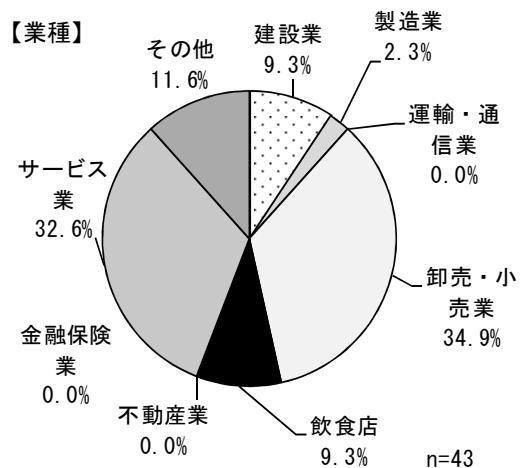


※「拡大生産者責任」とは、「循環型社会形成推進基本法」に定められた、製造者や販売店などは、製造あるいは販売した製品が不用になった場合についても一定の責任を持つという原則のことです。

選択肢	件数	%
「拡大生産者責任」の取り組みを進めている	1	2.4
「拡大生産者責任」を知っており、取り組みの準備を進めている	0	0.0
「拡大生産者責任」を知っているが、何をしてもよいかわからない	4	9.8
「拡大生産者責任」を知っているが、業務上該当しない	9	22.0
「拡大生産者責任」を知らない	23	56.1
その他	4	9.8
未回答	2	—
サンプル数	43	41

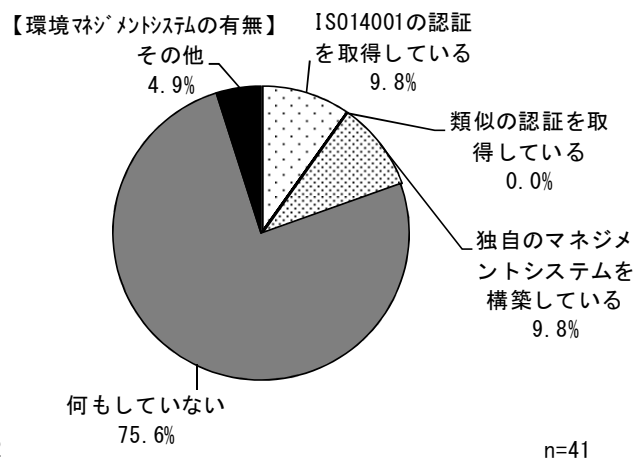
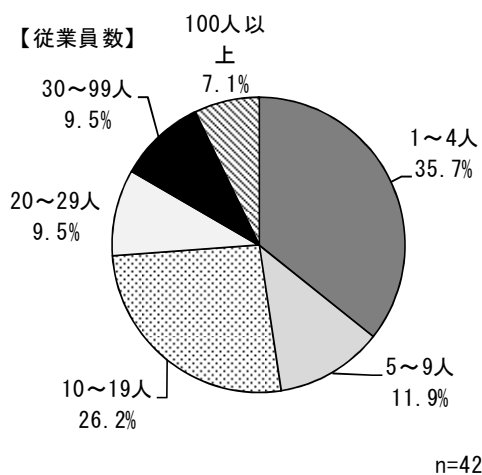
問10 貴事業所について

調査結果の分析に必要な基礎的条件についてお聞きます。該当するものを1つずつ選んで、番号を○で囲んでください。



選択肢	件数	%
建設業	4	9.3
製造業	1	2.3
運輸・通信業	0	0.0
卸売・小売業	15	34.9
飲食店	4	9.3
金融保険業	0	0.0
不動産業	0	0.0
サービス業	14	32.6
その他	5	11.6
未回答	0	—
サンプル数	43	43

選択肢	件数	%
事務所	6	14.3
工場	2	4.8
店舗	17	40.5
店舗兼住居	10	23.8
その他	7	16.7
未回答	1	—
サンプル数	43	42



選択肢	件数	%
1~4人	15	35.7
5~9人	5	11.9
10~19人	11	26.2
20~29人	4	9.5
30~99人	4	9.5
100人以上	3	7.1
未回答	1	—
サンプル数	43	42

選択肢	件数	%
ISO14001の認証を取得している	4	9.8
類似の認証を取得している	0	0.0
独自のマネジメントシステムを構築している	4	9.8
何もしていない	31	75.6
その他	2	4.9
未回答	2	—
サンプル数	43	41